



第 號

起 昭和十一年十月七日

上申 昭和十一年十月八日 行

昭和十一年十月九日

局長

書記官

案

年 月 日

内閣東北局長

大藏次官石渡莊太郎宛

臨時資金調整法ニ関スル件

十月二日附テ以テ御照會ニ係ル標記ノ件

別紙ノ通四添ニ及ビ候

裏面白紙

内閣東乙第一五二號

昭和十二年十月九日

内閣東北局長 桑原幹根

大藏次官 石渡莊太郎 殿

臨時資金調整法ニ關スル件

十月二日附ヲ以テ御照會ニ係ル標記ノ件別紙ノ通回答ニ及ビ候

内閣

BSタイプライター用紙

裏面白紙

臨時資金調整法施行令ニ於ケル行政官廳ノ認可、許可、免許又ハ命令ニ關スル事例及其实務指図

第一、施行令第三條ノ關係

(1) 借入金ニ關スル行政官廳ノ認可又ハ許可ノ事例

(イ) 東北興業株式會社法第十八條東北興業株式會社借入金ヲ爲サ

ントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クベシ

右ニ依リ東北興業株式會社借入金ヲ爲サントスルトキハ内閣總理大臣ノ認可ヲ要ス

(2) 有價證券ノ發行ニ關スル行政官廳ノ認可又ハ許可ノ事例

(該當事項ナシ)

(3) 有價證券ノ應募、引受又ハ募集ノ取扱ニ關スル行政官廳ノ認可又ハ許可ノ事例

(該當事項ナシ)

第二、施行令第四條關係

内閣

(1) 會社設立ニ關スル行政官廳ノ認可、許可又ハ免許ノ事例

(該當事項ナシ)

但シ東北興業株式會社、東北振興電力株式會社ガ東北振興上必要ナル事業トシテ資本金ノ大部分(五割以上)ヲ出資シテ子會社ヲ設立セシムル事例アリ

(イ) 東北興業株式會社法第十條東北興業株式會社ハ左ノ事業ノ經營又ハ之ニ對スル投資其ノ他ノ助成ヲ爲スモノトス

一 肥料工業其ノ他電氣化學工業

二 水産及礦産ノ資源開發事業

三 水面埋立事業

四 農村工業

五 其ノ他東北地方振興ニ關スル諸事業

(ロ) 東北振興電力株式會社法第一條東北振興電力株式會社ハ東北地方ノ振興ニ關スル爲同地方ニ於ケル電氣事業ヲ營ムコトヲ目

的トスル株式會社トス
東北振興電力株式會社ハ政府ノ認可ヲ受ケ前項ノ事業ニ附帶スル業務ヲ營ミ又ハ東北地方ニ於ケル他ノ電氣事業ニ投資スルコトヲ得

(2) 會社ノ目的トスル事業ニ關スル行政官廳ノ許可又ハ免許ノ事例

(該當事項ナシ)

第三、施行令第五條關係

(1) 會社ノ資本増加ニ關スル行政官廳ノ認可、許可、免許又ハ命令ノ事例

(イ) 東北興業株式會社法第二條東北興業株式會社ノ資本ハ三千萬圓トス但シ政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ増加スルコトヲ得

(ロ) 東北振興電力株式會社法第二條東北振興電力株式會社ノ資本ハ三千萬圓トス但シ政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ増加スルコトヲ得
右ニ依リ東北興業株式會社、東北振興電力株式會社ハ内閣總理

内閣

(2) 大臣ノ認可ヲ受ケテ資本金ヲ増加スルコトヲ得
會社ノ合併ニ關スル行政官廳ノ認可、許可、免許又ハ命令ノ事

例

(イ) 東北興業株式會社法第十九條定款ノ變更、合併及解散ノ決議ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

(ロ) 東北振興電力株式會社法第十一條定款ノ變更、合併及解散ノ決議ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

右ニ依リ東北興業株式會社、東北振興電力株式會社ト他ノ會社トノ合併ニ關シテハ内閣總理大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

(3) 會社ノ目的變更ニ關スル行政官廳ノ認可、許可、免許又ハ命令ノ事例

東北興業株式會社、東北振興電力株式會社ノ兩社共東北振興ヲ目的トシテ設立セラレタルモノニシテ目的變更等ノ場合無キモノト

認ム（兩會社法第一條參照）

第四、施行令第六條關係

(1) 會社ノ株金ノ拂込ニ關スル行政官廳ノ認可、許可、免許又ハ命令ノ事例

(4) 東北興業株式會社業務監督ニ關スル命令書第六條（監督命令）
東北興業株式會社株金ノ拂込ヲ爲サシメントスルトキハ其ノ事由、金額及期日ヲ具シ拂込通知發送ノ一月前迄ニ内閣總理大臣ノ認可ヲ受クベシ

(4) 東北振興電力株式會社業務監督ニ關スル命令書第六條（監督命令）
東北振興電力株式會社株金ノ拂込ヲ爲サシメントスルトキハ其ノ事由、金額及期日ヲ具シ拂込通知發送ノ一月前迄ニ内閣總理大臣ノ認可ヲ受クベシ
右ニ依リ東北興業株式會社、東北振興電力株式會社ハ内閣總理大臣ノ認可ヲ受ケテ株金ノ拂込徴收ヲナスコトトナリ居レリ

内閣

(2) 會社ノ事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ニ關スル行政官廳ノ認可、許可、免許又ハ命令ノ事例

(4) 東北興業株式會社法第二十一條東北興業株式會社事業計畫ヲ設定シ又ハ變更セントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クベシ

(4) 東北振興電力株式會社法第十三條東北振興電力株式會社事業計畫ヲ設定シ又ハ變更セントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クベシ
右ニ依リ東北興業株式會社、東北振興電力株式會社ノ事業計畫（資金計畫ヲ含ム）ノ設定及其ノ變更ハ内閣總理大臣ノ認可ヲ要ス

(3) 社債ノ募集ニ關スル行政官廳ノ認可、許可、免許又ハ命令ノ事例

(4) 東北興業株式會社法第十二條東北興業債券發行セントスル場合ニ於テハ政府ノ認可ヲ受クベシ

(4) 東北振興電力株式會社法第十條東北振興電力株式會社社債ヲ

募集セントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クベシ
右ニ依リ東北興業株式會社、東北振興電力株式會社ガ社債ヲ募
集セントスルトキハ内閣總理大臣ノ認可ヲ要ス

附

臨時資金調整法第八條又ハ第九條ト同様ノ規程ヲ設クル法律ノ
事例

(1) 第八條ニ依ル事例

(イ) 東北興業株式會社法第三條東北興業株式會社ハ株金全額拂込
前ト雖モ其ノ資本ヲ増加スルコトヲ得

(ロ) 東北振興電力株式會社ハ電氣事業法第十八條ニ依リ逓信大臣
ノ認可ヲ受ケ株金全額拂込前ト雖モ其ノ資本ヲ増加スルコトヲ
得ルコトトナリ居レリ

(参照)

電氣事業法第十八條第一條第一號又ハ第三號ノ電氣事業會社

内閣

ハ事業擴張ノ場合ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ事業ニ關
スル電氣工作物施設ノ費用ニ充ツル爲メ株金全額拂込前ト雖モ
其ノ資本ヲ増加スルコトヲ得

右ニ依リ東北興業株式會社ハ内閣總理大臣ノ認可ヲ、東北振興
電力株式會社ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ株金全額拂込前ト雖モ
其ノ資本ヲ増加スルコトヲ得ルコトトナリ居レリ

(2) 第九條ニ依ル事例

(イ) 東北興業株式會社法

第十一條東北興業株式會社ハ拂込ミタル株金額ノ五倍ヲ限り東

北興業債券ヲ發行スルコトヲ得

東北興業債券ヲ發行スル場合ニ於テハ商法第二百九條ニ定

ムル決議ニ依ルコトヲ要セズ

第十五條東北興業株式會社ハ社債借換ノ爲一時第十一條ノ制限

ニ依ラズ東北興業債券ヲ發行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ
發行後一月以内ニ其ノ社債總額ニ相當スル舊東北興業債券ヲ
償還スベシ

(ロ) 東北振興電力株式會社ハ電氣事業法第十九條ニ依リ逓信大臣
ノ認可ヲ受ケ拂込ミタル株金額ノ二倍ヲ超エザル限度ニ於テ社
債ヲ發行シ得ルコトナリ居レリ

(參照)

電氣事業法第十九條第一號又ハ第三號ノ電氣事業會社
ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ事業ニ屬スル電氣工作物施設ノ
費用ニ充ツル爲商法第二百條ノ規定ニ依ル制限ヲ超エテ社債
ヲ募集スルコトヲ得但シ社債ノ總額ハ拂込ミタル株金額ノ二
倍ヲ超ユルコトヲ得ズ

右ニ依リ東北興業株式會社ハ内閣總理大臣ノ認可ヲ受ケテ拂込
ミタル株金額ノ五倍、東北振興電力株式會社ハ逓信大臣ノ認可

内閣

ヲ受ケテ拂込ミタル株金額ノ二倍ニ相當スル社債ヲ募集スルコ
トヲ得

12.10.4.
第 一 號

乙 一 五 二

昭和十七年十月二日

大藏次官 石 井 謙 三

東北局長 桑 原 幹 殿



臨時資金調整法ノ運用ニ關シ調査上必要有之候ニ付テハ貴所管内ニ於
ケル臨時資金調整法施行令第三條、第四條、第五條及第六條ニ所關行
政官廳ノ認可、許可、免許又ハ命令ノ事例及其ノ根據法規ヲ調査ノ
上折返シ御回答相煩度此致及御依頼候也
追而臨時資金調整法施行令第三條乃至第六條ノ行政官廳ノ認可、許
可、免許又ハ命令ハ法令ニ明文アル場合ニ限ルモノニ有之候モ一般
的監督規定ニ基テ命令又ハ補助命令等ニ依ル認可、許可、免許若ハ
命令等ノ事例ニ付テモ御調査相煩度申添候

大 藏 省

規格 B 5. (12.7. 小川納)

裏面白紙

裏面白紙

昭和十二年十月二日

大蔵次官

各省次官
對需事務局長
東 北 局 長
資源局長
宛

臨時資金調整法ノ運用ニ關シ調査上必要有之候ニ付テハ貴所管内ニ於
ケル臨時資金調整法施行令第三條、第四條、第五條及第六條ニ所請行
政官廳ノ認可、許可、免許又ハ命令ノ事例及其ノ根據法規ヲ御調査ノ
上折返シ御回答相煩度此段及御依頼候也
追而臨時資金調整法施行令第三條乃至第六條ノ行政官廳ノ認可、許
可、免許又ハ命令ハ法令ニ明文アル場合ニ限ルモノニ有之候モ一燈
的監督規定ニ基ク命令又ハ補助命令等ニ依ル認可、許可、免許若ハ
命令等ノ事例ニ付テモ御調査相煩度申添候

臨時資金調整法施行令ニ於ケル行政官廳ノ認可、許可、免許又ハ命令ニ關シ協議ノ件

昭和十二年十月四日

第一 施行令第三條關係

一、借入金ニ關スル行政官廳ノ認可又ハ許可ノ事例

二、有價證券ノ發行ニ關スル行政官廳ノ認可又ハ許可ノ事例

三、有價證券ノ應募、引受又ハ募集ノ取扱ニ關スル行政官廳ノ認可又ハ許可ノ事例

第二 施行令第四條關係

一、會社ノ設立ニ關スル行政官廳ノ認可、許可又ハ免許ノ事例

二、會社ノ目的トスル事業ニ關スル行政官廳ノ許可又ハ免許ノ事例

第三 施行令第五條關係

- 一、會社ノ資本増加ニ關スル行政官廳ノ認可、^(許可)免許又ハ命令ノ專例
- 二、會社ノ合併ニ關スル行政官廳ノ認可、許可、免許又ハ命令ノ專例
- 三、會社ノ目的變更ニ關スル行政官廳ノ認可、許可、免許又ハ命令ノ專例

第四 施行令第六條關係

- 一、會社ノ資金ノ拂込ニ關スル行政官廳ノ認可、許可、免許又ハ命令ノ專例
- 二、會社ノ專業設備ノ新設、擴張又ハ改良ニ關スル行政官廳ノ認可、許可、免許又ハ命令ノ專例

裏面白紙

三、社債ノ募集ニ關スル行政官廳ノ認可、許可、免許又ハ命令ノ專例
附 臨時資金調整法第八條又ハ第九條ト同様ノ規定ヲ設クル法律ノ
專例

光緒二十九年

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル件

裏面白紙

目録

一般會計

外務省所管

内務省所管

大藏省所管

陸軍省所管

海軍省所管

農林省所管

商工省所管

逓信省所管

特別會計

大藏省所管

印刷局

專賣局

一頁

一

一五

一七

一八

一九

三九

四四

五六

五六

五六

(三)

一

關東局
 陸軍省所管
 陸軍造兵廠
 千住製絨所
 海軍省所管
 海軍工廠資金
 海軍火藥廠
 海軍燃料廠
 逓信省所管
 通信事業
 鐵道省所管
 帝國鐵道
 拓務省所管
 朝鮮總督府

(三) 二

五七
 五八
 五八
 五九
 六〇
 六〇
 六〇
 六一
 六一
 六一
 六二
 六三
 六三
 六三
 六四
 六四

朝鮮鐵道用品資金
臺灣總督府
臺灣官設鐵道用品資金
樺太廳

八〇
八一
八七
八八

裏面白紙

(三) 三

一般會計

外務省所管

地所家屋借料

在外公館ニ於ケル地所家屋借料ニ付テハ現在契約額ヲ改定シ年額百六拾六萬九千五百五拾壹圓ヲ限り各相當ノ年限及年額ヲ定メ借入若ハ借繼ノ契約ヲ結フコトヲ得

説明

地所家屋借料ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ在外公館ノ新設又ハ廢止等ニ伴ヒ年額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記金額ノ範圍内ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

内務省所管

水道費補助

室蘭市、兵庫縣垂水町、同相生町、新潟縣水原町、同見附町、福島縣須賀川町、同小名濱町、鹿

兒島縣枕崎町ニ對シ上水道費補助トシテ並西宮市、靜岡市、福岡市、那覇市ニ對シ下水道費補助トシテ總額百九拾四萬五千圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十二年度	一一、〇〇〇圓
昭和十三年度	一一、〇〇〇
昭和十四年度	一一、〇〇〇
昭和十五年度	一一、〇〇〇
昭和十六年度	一一、〇〇〇
昭和十七年度	一一、〇〇〇
昭和十八年度	一一、〇〇〇
昭和十九年度	一一、〇〇〇
昭和二十年度	一一、〇〇〇
昭和二十一年度	一一、〇〇〇
昭和二十二年度	二四、〇〇〇

昭和二十三年度	一四、〇〇〇
昭和二十四年度	一四、〇〇〇
昭和二十五年度	一四、〇〇〇
昭和二十六年	二四、〇〇〇
昭和二十七年	五四、〇〇〇
昭和二十八年	七四、〇〇〇
昭和二十九年	八四、〇〇〇
昭和三十年度	一〇〇、〇〇〇
昭和三十一年度	一〇〇、〇〇〇
昭和三十二年	一〇〇、〇〇〇
昭和三十三年	一〇〇、〇〇〇
昭和三十四年度	二〇〇、〇〇〇
昭和三十五年度	二〇〇、〇〇〇
昭和三十六年度	四九三、〇〇〇

(a) 三

計

一、九四五、〇〇〇

(三) 四

説明

室蘭市外七町ノ上水道費竝西宮市外三市ノ下水道費ニ對シ補助スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

宇部港修築費補助

宇部港修築費補助トシテ總額百五拾八萬九千九百圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十二年度	一一一、〇〇〇
昭和十三年度	一一〇、〇〇〇
昭和十四年度	一一〇、〇〇〇
昭和十五年度	一一〇、〇〇〇
昭和十六年度	一一〇、〇〇〇
昭和十七年度	一一〇、〇〇〇
昭和十八年度	一一〇、〇〇〇

昭和十九年度

二一八、九〇〇

計

一、五八九、九〇〇

説明

宇部港ノ修築費ニ對シ補助スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

博多港修築費補助

博多港修築費補助トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度

一三二、八〇〇

昭和十三年度

五二三、〇五〇

昭和十四年度

五〇八、七四〇

昭和十五年度

五〇八、七四〇

昭和十六年度

五七一、二四〇

昭和十七年度

一二三、八三〇

昭和十八年度

二〇五、九六八

昭和十九年度

三一四、四七一

説明

博多港修築費補助ニ關シテハ第六十四回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ更ニ總額百四拾四萬圓ヲ限リ補助金ヲ追加スル爲年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

土木費借入金利子補給

鳥取縣外六縣ニ對スル土木費借入金利子補給トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度	九二一、三四五
昭和十三年度	八五四、七二三
昭和十四年度	八〇一、一三七
昭和十五年度	七五八、二四八
昭和十六年度	七一五、二〇四
昭和十七年度	六七一、二二二
昭和十八年度	五九六、七六九

昭和十九年度	五五九、一四九
昭和二十年度	五二二、一六五
昭和二十一年度	四〇九、八一九
昭和二十二年度	三三一、〇〇八
昭和二十三年度	二六八、一一〇
昭和二十四年度	二四四、八五四
昭和二十五年度	二一八、五〇二
昭和二十六年	二〇〇、二七三
昭和二十七年	一七〇、六二二
昭和二十八年	一五三、四九七
昭和二十九年	一三四、二八一
昭和三十年	一一六、一七〇
昭和三十一年度	九八、五一六
昭和三十一年度	八一、三二九

昭和三十三年度	六六、〇八三
昭和三十四年度	五四、一七四
昭和三十五年度	五三、一四九

説明

鳥取縣外六縣(從來ハ鳥取縣外八縣ナリシモ内二縣ニ付テハ利子補給終了セルヲ以テ鳥取縣外六縣トナル)ニ對スル土木費借入金利子補給ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ借入利率低下セル爲年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

鳥取縣ニ對シ土木費借入金利子補給トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度	一三、二一六
昭和十三年度	一三、二一六
昭和十四年度	一三、〇四四
昭和十五年度	一二、三四〇

昭和十六年度	一一、六一二
昭和十七年度	一〇、八六三
昭和十八年度	一〇、〇八八
昭和十九年度	九、二八八
昭和二十年度	八、四六三
昭和二十一年度	七、六一二
昭和二十二年度	六、七三三
昭和二十三年度	五、八二四
昭和二十四年度	四、八八八
昭和二十五年度	三、九二〇
昭和二十六年	二、九二〇
昭和二十七年	一、八八八
昭和二十八年度	八二四

説明

鳥取縣ニ對スル土木費借入金利子補給ニ關シテハ第六十七回帝國議會ノ協賛ヲ經タル
モ借入利率低下セル爲年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記年度割金額ノ範圍内ニ於
テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

中小河川改良費補助

中小河川改良費補助トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度	五、一四三、一〇〇
昭和十三年度	四、五五四、一五〇
昭和十四年度	三、九〇六、六〇〇
昭和十五年度	三、〇九八、三五〇
昭和十六年度	一、七〇三、〇〇〇
昭和十七年度	一、五七二、〇〇〇
昭和十八年度	一、二九九、六〇〇

說明

中小河川改良費補助ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ更ニ總額七百貳

拾七萬貳千六百圓ヲ限リ補助金ヲ追加スル爲年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記年
度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

地方港湾改良費補助

地方港湾改良費補助トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度	一、二八五、〇〇〇
昭和十三年度	一、一一九、〇〇〇
昭和十四年度	八〇五、四〇〇
昭和十五年度	五六二、〇〇〇
昭和十六年度	四三三、五〇〇
昭和十七年度	三〇〇、五〇〇

説明

地方港湾改良費補助ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ更ニ總額貳百萬
圓ヲ限リ補助金ヲ追加スル爲年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記年度割金額ノ範圍
内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

北海道民有未墾地開發利子補給金

北海道民有未墾地開發利子補給金トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度	一四二、五二三
昭和十三年度	一四四、〇七七
昭和十四年度	一四〇、四四九
昭和十五年度	一三六、六二四
昭和十六年度	一三二、三八八
昭和十七年度	一二七、七三七
昭和十八年度	一二二、七三五
昭和十九年度	一一七、五五九
昭和二十年度	一一二、二〇四
昭和二十一年度	一〇六、六六〇
昭和二十二年度	一〇〇、九三〇

昭和二十三年度	昭和二十四年度	昭和二十五年度	昭和二十六年度	昭和二十七年度	昭和二十八年度	昭和二十九年度	昭和三十年度	昭和三十一年度	昭和三十二年度	昭和三十三年度	昭和三十四年度	昭和三十五年度	昭和三十六年度
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

昭和三十七年度	六、八三五
昭和三十八年度	一四、五四六
昭和三十九年度	一二、九一五
昭和四十年年度	一、三七九
昭和四十一年度	一四一〇

説明

北海道民有未墾地開發利子補給金ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ昭和十二年度新規借入金ニ對シ利子ヲ補給スルノ必要アルト農家負擔利率ヲ統一スルノ結果利子補給額ノ追加ヲ要スルト昭和十年度資金借入額ノ減少ニ依リ利子補給額ノ減少ヲナストノ爲年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

防火地區建築費補助

防火地區建築費補助トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度	七〇〇、〇〇〇
--------	---------

昭和十三年度

五、五七〇、〇〇〇

説明

防火地區建築費補助ニ關シテハ曩ニ帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

大藏省所管

造船資金貸付補給及損失補償

政府ハ造船資金ノ貸付ヲ爲ス者ニ對シ其ノ貸付金額七千萬圓ヲ限リ左ノ條件ニ依リ補給金ヲ支出シ且貸付ニ因リ受ケタル損失ヲ補償スルノ契約ヲ結フコトヲ得

一 貸付ハ左記ニ依ルコト

イ 造船資金ノ融通ニ限ルコト

ロ 十五年以内ノ年賦償還ノ方法ニ依ルコト但シ其ノ期間内ニ於テ二年以内ノ据置期間ヲ定ムルコトヲ得ルコト

ハ 建造セララル船舶(建造中ノ船舶ヲ含ム)ニ第一順位ノ抵當權ヲ設定スルコト但シ建

造中ノ船舶力竣工スル迄ハ一時他ノ船舶又ハ其ノ他ノ物件ヲ擔保トスルコトヲ得ルコト

ニ 擔保價格ハ抵當タル船舶ノ價格ノ三分ノ二以内ニシテ且保險金額ノ五分ノ四以内トスルコト

ホ 貸付利率ハ年三分七厘トスルコト

二 貸付ヲ受クル者ハ帝國臣民又ハ帝國臣民ノミヲ社員若ハ株主トスル會社ニシテ海運業ヲ營ム目的ヲ以テ内地ニ於テ船舶ヲ建造スル者ニ限ルコト

三 建造セラルル船舶(建造中ノ船舶ヲ含ム)ハ總噸數四千噸以上最快速力一時間十三海里半以上ノ鋼製貨物船トスルコト但シ總噸數二千噸以上最快速力一時間十一海里以上ノ鋼製貨物船ニシテ特ニ主務大臣ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

四 補給金ハ貸付金額ニ對シ年一分ニ相當スル金額トスルコト

貸付ニ充ツル資金ノ原價カ年三分七厘ヲ超ユル場合ハ其ノ超過スル率ニ相當スル金額ヲ前項補給金額ニ併セ補給シ貸付ニ充ツル資金ノ原價カ年三分七厘ニ達セサル場合ハ年三分七厘トノ差率ニ相當スル金額ヲ前項補給金額ヨリ減スルコト

債券ノ發行ニ依ル資金ヲ以テ貸付ニ充ツル場合ニ於テハ前項ノ資金ノ原價ハ該債券ノ
發行者利廻トスルコト

五 損失補償金ハ貸付ニ因リ受ケタル損失額ニ對シ百分ノ七十二相當スル金額トスル
コト

前項ノ損失及其ノ額ハ損失補償ノ契約其ノ他ノ條件ニ從ヒ主務大臣之ヲ決定スルコト
六 貸付ヲ爲サントスルトキハ豫メ主務大臣ノ承認ヲ受クヘキコト

説明

造船資金ノ貸付ヲ爲ス者ニ對シ補給金ヲ支出シ且損失ヲ補償スルノ必要アリ依テ之カ
補給並損失補償ニ關シ契約ヲ結フヲ要ス

陸軍省所管

衣糧費

兵器及馬匹費

輸送費

糧秣費

築造費

陸軍軍事費ニ屬スル衣糧費四百八拾參萬八千圓兵器及馬匹費六百六拾參萬貳千圓輸送費貳拾四萬圓在滿兵力維持ニ要スル糧秣費貳百五拾萬圓築造費千貳百萬圓ヲ限リ昭和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

精米精麥馬糧、被服及糧食品製造用器具材料、飛行機其ノ他航空器材、銃砲觀測具、自動車類並通信、照明、鐵道器材、梱包材料、特殊舟艇及特殊海運材料等ノ購買ハ前年度ニ於テ契約ヲ爲スニアラサレハ支給又ハ運輸上支障ヲ生スルモノアリ又在滿兵力ノ充實ニ伴フ建築工事材料ハ大部分官ニ於テ準備スルヲ要シ其ノ購買ノ爲ニハ前年度ニ於テ製造、準備セシメ置クノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

海軍省所管

造船造兵及修理費

艦營費

水路費

海軍軍事費ニ屬スル造船造兵及修理費千參百萬圓艦營費千萬圓水路費貳萬圓ヲ限リ昭和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

兵器、造船造兵材料、諸機械、艦營需品及水路圖誌類ニシテ軍事上ノ必要ニ基キ年度ノ初ニ要スルモノハ前年度ニ於テ注文ヲ爲スノ必要アリ又艦船ノ行動用重油ハ各國需要供給ノ趨勢ヲ慮リ的確ナル供給ヲ受クルノ保障ヲ得ル爲メ豫メ購買契約ヲ爲シ置クノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

農林省所管

生絲検査用設備借料

生絲検査用設備借料トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度

一六二、二一七

(三) 二九

昭和十三年度
昭和十四年度
昭和十五年度
昭和十六年度
昭和十七年度
昭和十八年度
昭和十九年度
昭和二十年度
昭和二十一年度
昭和二十二年
昭和二十三年度
昭和二十四年度
昭和二十五年度
昭和二十六年
度

一六二、二一七
一六二、二一七
一六二、二一七
一六二、二一七
一六二、二一七
一六二、二一七
一六二、二一七
一六二、二一七
一六二、二一七
一六二、二一七
一六二、二一七
一六二、二一七
一六二、二一七
一六二、二一七

昭和二十七年	度	一六二、二一七
昭和二十八年	度	一六二、二一七
昭和二十九年	度	一六二、二一七
昭和三十年	度	一六二、二一七
昭和三十一年	度	一六二、二一七

説明

生絲検査用設備借料ニ關シテハ第五十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ年割額ヲ改定ス
ルノ必要アリ依テ前記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

自作農創設維持補助金

自作農創設維持補助金トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年	度	一、六二九、〇七五
昭和十三年	度	一、七三七、二八〇
昭和十四年	度	一、七三七、二八〇
昭和十五年	度	一、七三七、二八〇

昭和十六年度	一、七三七、二八〇
昭和十七年度	一、七三七、二八〇
昭和十八年度	一、七三七、二八〇
昭和十九年度	一、七三七、二八〇
昭和二十年度	一、七三七、二八〇
昭和二十一年度	一、七三七、二八〇
昭和二十二年	一、七三七、二八〇
昭和二十三年	一、七三七、二八〇
昭和二十四年度	一、七三七、二八〇
昭和二十五年度	一、七三七、二八〇
昭和二十六年度	一、七三七、二八〇
昭和二十七年度	一、七三七、二八〇
昭和二十八年度	一、七三七、二八〇
昭和二十九年度	一、七三七、二八〇

昭和三十年度	一、七三七、二八〇
昭和三十一年度	一、七三七、二八〇
昭和三十一年度	一、五八七、〇六七
昭和三十三年度	一、三一七、〇七一
昭和三十四年度	一、〇四〇、〇三八
昭和三十五年度	九〇八、一一八
昭和三十六年度	七七六、一九八
昭和三十七年度	六〇二、九九三
昭和三十八年度	六〇二、九九三
昭和三十九年度	六〇二、九九三
昭和四十年度	六〇二、九九三

説明

自作農創設維持補助金ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ更ニ總額四百
 貳拾貳萬千九百貳拾圓ヲ限リ補助金ヲ増加スル爲年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前

(a) 11111

記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

米穀貯藏資金利子補給

米穀貯藏資金利子補給トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度

一、二四四、七六〇

昭和十三年度

九〇二、〇〇〇

米穀保管料補助

米穀保管料補助トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度

六一一、二四〇

昭和十三年度

三三六、〇〇〇

説明

米穀貯藏資金利子補給及米穀保管料補助ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

古米格補助

古米格補助トシテ總額參百七拾五萬圓ヲ限リ昭和十三年度ニ於テ支出スルノ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

古米格ハ米穀自治管理法ニ依リ過剩米穀ノ統制ヲ爲サシムル爲米穀統制組合等ニ對シ補助スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

用排水幹線改良事業費補助

用排水幹線改良事業ニ對スル補助金トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度	三、五八〇、三六九
昭和十三年度	五、〇二一、六三四
昭和十四年度	三、七九一、九八三
昭和十五年度	三、四九一、九八三
昭和十六年度	三、四六六、九八三
昭和十七年度	二、六四六、九八三

昭和十八年度	一七二、五六三
昭和十九年度	一七二、五六三
昭和二十年度	一七二、五六三
昭和二十一年度	一七二、五六三

説明

用排水幹線改良事業費補助ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ更ニ總額四百八拾貳萬九千六百貳拾五圓ヲ限リ補助金ヲ増加スル爲年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

開墾助成金

開墾助成金トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度	三、九四九、九〇〇
昭和十三年度	三、〇四二、四〇〇
昭和十四年度	一、四〇七、一〇〇
昭和十五年度	九五七、一〇〇

昭和十六年度	八六〇、一〇〇
昭和十七年度	四二九、六〇〇

説明

開墾助成金ニ關シテハ第六十七回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ更ニ總額貳百拾四萬八千圓ヲ限り助成金ヲ増加スル爲年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

耕地整理事業債務整理補給金

耕地整理事業債務整理補給金トシテ總額百萬圓ヲ限り左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十二年度	一一〇〇、〇〇〇
昭和十三年度	一一〇〇、〇〇〇
昭和十四年度	一一〇〇、〇〇〇
昭和十五年度	一一〇〇、〇〇〇
昭和十六年度	一一〇〇、〇〇〇

計

一、〇〇〇、〇〇〇

(ヨ) 二八

説明

耕地整理事業債務整理ニ關シ補給金ヲ交付スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

青森漁港修築費補助

青森漁港修築費補助トシテ總額四拾八萬五千圓ヲ限り左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十二年度

六〇、〇〇〇

昭和十三年度

六〇、〇〇〇

昭和十四年度

六〇、〇〇〇

昭和十五年度

九〇、〇〇〇

昭和十六年度

一〇〇、〇〇〇

昭和十七年度

一一五、〇〇〇

計

四八五、〇〇〇

串本漁港修築費補助

串本漁港修築費補助トシテ總額貳拾八萬五千圓ヲ限り左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十二年度	三〇、〇〇〇
昭和十三年度	五〇、〇〇〇
昭和十四年度	五〇、〇〇〇
昭和十五年度	八〇、〇〇〇
昭和十六年度	七五、〇〇〇
計	二八五、〇〇〇

阿久根漁港修築費補助

阿久根漁港修築費補助トシテ總額貳拾六萬圓ヲ限り左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十二年度	二五、〇〇〇
昭和十三年度	五〇、〇〇〇

昭和十四年度	五〇、〇〇〇
昭和十五年度	七〇、〇〇〇
昭和十六年度	六五、〇〇〇

計

二六〇、〇〇〇

大津漁港修築費補助

大津漁港修築費補助トシテ總額拾參萬圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ

結フコトヲ得

昭和十二年度	二〇、〇〇〇
昭和十三年度	三〇、〇〇〇
昭和十四年度	三〇、〇〇〇
昭和十五年度	五〇、〇〇〇

計

一三〇、〇〇〇

濱田漁港修築費補助

濱田漁港修築費補助トシテ總額拾貳萬圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ

結フコトヲ得

昭和十二年度	二〇、〇〇〇
昭和十三年度	三〇、〇〇〇
昭和十四年度	三〇、〇〇〇
昭和十五年度	四〇、〇〇〇

計

一二〇、〇〇〇

新湊漁港修築費補助

新湊漁港修築費補助トシテ總額拾萬圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ結
フコトヲ得

昭和十二年度	一〇、〇〇〇
昭和十三年度	三〇、〇〇〇
昭和十四年度	三〇、〇〇〇
昭和十五年度	二〇、〇〇〇

計

一〇〇、〇〇〇

(a) 111

説明

(表) 三三

青森縣青森、和歌山縣串本、鹿兒島縣阿久根、茨城縣大津、島根縣濱田及富山縣新湊ノ各漁港ノ修築費ニ對シ補助スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

小漁港修築費補助

小漁港修築費補助トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度	一一〇、〇〇〇
昭和十三年度	一六〇、〇〇〇
昭和十四年度	一〇〇、〇〇〇

説明

小漁港修築費補助ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ更ニ總額貳拾六萬圓ヲ限り補助金ヲ増加スル爲年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

銚子漁港修築費補助

銚子漁港修築費補助トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度	一〇〇、〇〇〇
昭和十三年度	二五〇、〇〇〇
昭和十四年度	二五〇、〇〇〇
昭和十五年度	二五〇、〇〇〇
昭和十六年度	一九〇、〇〇〇

日和佐漁港修築費補助

日和佐漁港修築費補助トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十三年度	五〇、〇〇〇
昭和十四年度	一一〇、〇〇〇

湊漁港修築費補助

湊漁港修築費補助トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度	一五〇、〇〇〇
昭和十三年度	三〇〇、〇〇〇
昭和十四年度	三二〇、〇〇〇

(三) 三三三

戸畑漁港修築費補助

戸畑漁港修築費補助トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十三年度 八〇、〇〇〇

昭和十四年度 一五〇、〇〇〇

説明

銚子、日和佐、湊及戸畑ノ各漁港修築費補助ニ關シテハ曩ニ帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ事業ヲ繰延フル爲年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

農村經濟更生特別助成金

農村經濟更生特別助成金トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度 四、五〇〇、〇〇〇

昭和十三年度 二、五〇〇、〇〇〇

説明

農村經濟更生特別助成金ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ更ニ總額五

百萬圓ヲ限り助成金ヲ増加スル爲年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記年度割金額ノ
範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

農村經濟更生計畫實行資金利子補給

農村經濟更生計畫實行資金利子補給トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改
定ス

昭和十二年度	五九、四〇〇
昭和十三年度	一〇五、六〇〇
昭和十四年度	一〇五、六〇〇
昭和十五年度	一〇五、六〇〇
昭和十六年度	九六、六〇〇
昭和十七年度	四六、二〇〇

説明

農村經濟更生計畫實行資金利子補給ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ
更ニ總額貳拾六萬四千圓ヲ限り補給金ヲ増加スル爲年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ

前記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

自作農耕地開發助成金

自作農耕地開發助成金トシテ總額九拾九萬六千圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十三年度	三九一、二〇〇
昭和十四年度	一五一、二〇〇
昭和十五年度	一五一、二〇〇
昭和十六年度	一五一、二〇〇
昭和十七年度	一五一、二〇〇
計	九九六、〇〇〇

説明

自作農耕地開發ニ關シ助成金ヲ交付スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

耕地事業助成金

耕地事業助成金トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度 九、二二〇、〇一四

昭和十三年度 五、八二〇、二〇二

昭和十四年度 一、六三一、一九三

説明

耕地事業助成金ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ更ニ總額貳百五拾參萬參千七百參拾五圓ヲ限リ助成金ヲ増加スル爲年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

荒廢林地復舊事業助成金

荒廢林地復舊事業助成金トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度 一、九五七、八五四

昭和十三年度 一一、〇九〇、六九三

説明

荒廢林地復舊事業助成金ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ更ニ總額百

拾六萬貳千百五拾七圓ヲ限リ助成金ヲ増加スル爲年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前
記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

北海道幌泉郡油類被害地漁業復舊助成金

北海道幌泉郡油類被害地漁業復舊助成金トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通
リ改定ス

昭和十二年度	四、〇四二
昭和十三年度	三、七一八
昭和十四年度	三、三七八
昭和十五年度	三、〇二二
昭和十六年度	二、六四八
昭和十七年度	二、二五七
昭和十八年度	一、八四七
昭和十九年度	一、四一七
昭和二十年度	九六七

昭和二十一年度

説明

北海道幌泉郡油類被害地漁業復舊助成金ニ關シテハ第六十二回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

補助及補償費

治水事業費中ノ補助及補償金ニ關シ第六十七回帝國議會ノ協賛ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルノ件中昭和十二年度以降ノ年割ハ之ヲ廢止ス

説明

治水ニ關スル各種事業ノ補助及補償金ノ交付ニ付テハ第六十七回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ新ニ森林治水事業費ヲ繼續費トシ之ニ依リ補助及補償金ヲ交付スル計畫ヲ樹テタルヲ以テ昭和十二年度以降ノ年割ヲ廢止ス

商工省所管

輸出補償金

輸出補償金トシテ總額貳千百四拾六萬九千圓ヲ限リ昭和十二年度以降六箇年度内ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

輸出獎勵ノ爲輸出手形買取銀行ノ損失ニ對シ補償金ヲ交付スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

石油試掘獎勵金

石油試掘獎勵金トシテ總額參百七拾壹萬貳千圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十二年度	六九二、一五〇
昭和十三年度	七一五、三〇〇
昭和十四年度	七一五、三〇〇
昭和十五年度	七一五、三〇〇
昭和十六年度	七一五、三〇〇

昭和十七年度

一五八、六五〇

計

三、七一二、〇〇〇

説明

石油試掘ニ關シ獎勵金ヲ交付スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

北樺太石油資源開發助成金

北樺太石油資源開發助成金トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度

二、一七二、〇〇〇

昭和十三年度

二、四四〇、〇〇〇

昭和十四年度

一、八八八、〇〇〇

昭和十五年度

八六四、〇〇〇

昭和十六年度

二一六、〇〇〇

説明

北樺太石油資源開發助成金ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ更ニ試掘事業ヲ擴張スル爲總額四百貳拾四萬圓ヲ限り助成金ヲ増加スル爲年割額ヲ改定スルノ

必要アリ依テ前記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

北樺太石油株式會社社債元利保證

北樺太石油株式會社社債元利保證ニ關シ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件中「參百萬圓」トアルヲ「五百萬圓」ト改ム

説明

北樺太石油株式會社社債元利支拂ノ保證ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ更ニ試掘事業ヲ擴張スル爲元利保證限度ヲ五百萬圓ニ改ムルノ必要アルニ依ル

中小商工業資金融通損失再補償

中小商工業金融ノ圓滑ヲ圖ル爲道府縣及六大都市ノ指定スル金融機關カ中小商工業者又ハ政府ノ定ムル組合ニ對シ昭和十二年四月ヨリ同十七年三月ニ至ル期間ニ於テ資金ヲ融通シ之ニ因リ損失(損失決定ノ基準ハ政府之ヲ定ム)ヲ受ケタル場合道府縣又ハ六大都市カ損失補償契約ニ基キ該金融機關ニ對シ補償ヲ爲シタルトキハ政府ハ貸付金總額ノ四分ノ一ヲ限度トシ總額貳千五百萬圓(一箇年ニ付五百萬圓宛)ヲ限リ道府縣又ハ六大都市ニ對シ其ノ補償額ノ二分ノ一以内ノ金額ヲ補給スルノ契約ヲ結フコトヲ得

説明

中小商工業金融ノ圓滑ヲ圖ルカ爲道府縣及六大都市カ資金ノ融通ニ關シ損失補償制度ヲ設ケタル場合其ノ補償金ノ一部ヲ再補償スルノ必要アリ依テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

中央卸賣市場特別設備費補助

中央卸賣市場特別設備費補助ニ關シ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件中「昭和十二年度」トアルヲ「昭和十三年度」ト改ム

説明

名古屋中央卸賣市場特別設備費補助ニ關シ之カ支出年度ヲ改定スルノ必要アルニ依ル

國際見本市會館建設費補助

國際見本市會館建設費補助トシテ總額四拾萬圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十二年度	一〇〇、〇〇〇
昭和十三年度	一〇〇、〇〇〇
昭和十四年度	一〇〇、〇〇〇

計

四〇〇、〇〇〇

説明

國際見本市會館建設費ニ關シ補助金ヲ交付スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

逓信省所管

北米航路補助

南米航路補助

北米航路及南米航路補助トシテ遠洋航路補助法ノ規定ニ依リ昭和十三年度ニ於テ北米航路桑港線ニ對シ貳百五拾萬千貳百參拾壹圓以內同「シヤトル」線ニ對シ百拾九萬五百貳拾壹圓以內南米航路東岸線ニ對シ百參萬五千參百拾四圓以內同西岸線ニ對シ四拾萬八千六百七拾圓以內ヲ支出スルノ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

北米航路及南米航路補助ハ昭和十二年十二月ヲ以テ補助期間滿了トナルモ尙引續キ之

飛行機及發動機等試作獎勵金

カ定期航海繼續ノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

飛行機及發動機等試作獎勵金トシテ總額百萬圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十二年度	五〇〇、〇〇〇
昭和十三年度	五〇〇、〇〇〇
計	一、〇〇〇、〇〇〇

説明

飛行機及發動機等ヲ試作スル者ニ對シ獎勵金ヲ交付スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

東京大連線航空輸送補助

東京大連線及大阪上海線航空輸送補助ノ名稱ヲ改メ東京大連線航空輸送補助トシ昭和十二年度以降年度割金額及條件ヲ左ノ通り改定ス

一 支出年度割

昭和十二年度	一、〇〇〇、〇〇〇
昭和十三年度	八三〇、〇〇〇
昭和十四年度	五六〇、〇〇〇
昭和十五年度	四四〇、〇〇〇
昭和十六年度	三四〇、〇〇〇

二 條 件

〔東京大連線及大阪上海線ニハ貨客積載重量六百「キログラム」以上貨客積載容積六立方メートル〕以上經濟速力一時間百五十「キロメートル」以上」ヲ

〔本線路ニハ貨客積載重量六百「キログラム」以上貨客積載容積六立方メートル〕以上經濟速力一時間二百二十「キロメートル」以上」ニ改ム

〔命令書ノ定ムル所ニ依リ原則トシテ東京大連線中東京大阪間ハ昭和十一年六月以降毎年度毎日二往復以上、大阪大連間及大阪上海線中大阪福岡間ハ昭和十一年六月以降毎年度毎日一往復以上、福岡上海間ハ昭和十一年十月以降毎年度毎週三往復以上」ヲ

〔命令書ノ定ムル所ニ依リ原則トシテ本線路中東京福岡間ハ昭和十二年度以降毎年度

毎日二往復以上、福岡大連間ハ昭和十二年度以降毎年度毎日一往復以上ニ改ム

「政府ハ公益上必要ト認ムルトキハ相當ノ金額ヲ給與シテ各線路」ヲ

「政府ハ公益上必要ト認ムルトキハ相當ノ金額ヲ支給シテ本線路」ニ

「政府ハ非常事變ノ際ニ於テ各線路」ヲ

「政府ハ非常事變ノ際ニ於テ本線路」ニ改ム

説明

東京大連線及大阪上海線航空輸送補助ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ計畫變更ニ依リ昭和十二年度以降之カ補助金ヲ減額スルト同年度以降使用飛行機ノ機種變更等施設ノ改善ヲナスノ要アルヲ以テ之カ補助金ヲ増額スルトノ爲前掲ノ如ク名稱ヲ改メ年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

東京新京線航空輸送補助

東京新京線航空輸送事業補助ノ爲昭和十二年度以降五箇年度間左ノ條件ニ依リ左ニ掲クル金額以内ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

一 支出年度割

昭和十二年度	一、〇七〇、〇〇〇
昭和十三年度	一、一七〇、〇〇〇
昭和十四年度	九五〇、〇〇〇
昭和十五年度	九二〇、〇〇〇
昭和十六年度	九〇〇、〇〇〇
計	五、〇一〇、〇〇〇

二 條 件

一本線路ニハ貨客積載重量八百「キログラム」以上貨客積載容積十五立方「メートル」以上經濟速力一時間二百七十「キロメートル」以上ノ飛行機ヲ命令書ノ定ムル所ニ依リ備フルコト

一本線路ニ於テハ命令書ノ定ムル所ニ依リ原則トシテ昭和十二年六月以降毎年度毎日一往復以上ノ航空ヲ爲スコト

一政府ニ於テ必要ト認ムルトキハ飛行機ノ性能ノ變更又ハ航空回数ノ變更ヲ命スルコト

アルヘキコト

一旅客貨物ノ運賃ハ政府ノ認可ヲ得テ之ヲ定ムルコト

一政府ニ於テ必要ト認ムルトキハ旅客貨物ノ運賃ヲ變更セシムルコトアルヘキコト

一政府ハ公益上必要ト認ムルトキハ相當ノ金額ヲ支給シテ本線路ニ使用スル飛行機ヲ買収シ又ハ使用スルヲ得ルコト

政府ハ非常事變ノ際ニ於テ本線路ノ飛行機、格納庫其ノ他ノ設備及乗員並地上勤務員ヲ使用スルヲ得ルコト但シ此ノ場合ニハ相當ノ對價ヲ支給スルコト

一補助ヲ受クル者會社ナル場合ニ於テ取締役若ハ監査役ヲ選任セムトスルトキ又ハ定款ノ變更、利益金ノ處分、社債ノ募集、合併若ハ解散ヲ爲サムトスルトキハ政府ノ認可ヲ受クヘキコト

一補助金ハ命令書ノ定ムル所ニ依リ支給スルコト但シ航空回数ヲ減シタルトキ又ハ前記ノ性能ニ適合セサル飛行機ヲ使用シタルトキハ補助金ノ支給額ヲ減少スルコトアルヘキコト

一命令書ノ規定ニ違背シタルトキハ一回毎ニ所爲ノ輕重ニ從ヒ相當ノ違約金ヲ徴收スル

コトアルヘキコト

一 契約者義務ヲ他人ニ移轉シタルトキ、正當ノ理由ナクシテ一箇年度間ニ於テ命令書ニ規定スル缺航回数以上ノ缺航ヲ爲シタルトキ、政府カ公益上必要ト認メ飛行機ヲ買收若ハ使用セムトスルヲ拒ミタルトキ、政府カ非常事變ノ際ニ於テ飛行機、格納庫其ノ他ノ設備及乗員並地上勤務員ヲ使用セムトスルヲ拒ミタルトキ、政府ノ認可ヲ受ケスシテ定款ノ變更、利益金ノ處分、社債ノ募集、合併、解散ヲ爲シ若ハ取締役及監査役ヲ選任シタルトキ又ハ外國人ヲ株主ト爲シタルトキハ契約ヲ解除シ補助金ノ支給ヲ廢止シ當該年度内既ニ交付シタル補助金ヲ還納セシムルコト

一 前項ニ於テ一箇年度ト稱スルハ其ノ年四月一日ニ起リ翌年三月三十一日ニ終ル期間ヲ謂フ

説明

東京新京線航空輸送事業ニ對シ補助スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

遠洋航海助成金

遠洋航海助成ノ爲左ノ條件ニ依リ海運業者ニ對シ左ニ掲クル金額以内ヲ支出スルノ契約ヲ
結フコトヲ得

一 支出年度割

昭和十二年度	一、一二二、〇〇〇
昭和十三年度	一、三二八、〇〇〇
昭和十四年度	一、三二八、〇〇〇
昭和十五年度	一、三二八、〇〇〇
昭和十六年度	一、三二八、〇〇〇
計	一〇、四三四、〇〇〇

二 條 件

一 助成金ノ交付ヲ受クヘキ海運業者ハ帝國臣民又ハ帝國臣民ノミヲ社員若ハ株主トスル
會社ナルコト

一 助成スヘキ航海ハ遞信大臣ノ認ムル場合ノ外近海區域第一區外ニ於テ百八十日以上繼
續スルモノナルコト

一 使用船舶ハ内地、朝鮮、臺灣又ハ關東州ニ船籍港ヲ定ムル船舶ニシテ遞信大臣ノ認ムル場合ノ外總噸數四千噸以上最強速力一時間十二海里以上船齡二十五年未滿ノモノナルコト

一 助成金ハ命令書ノ定ムル所ニ依リ支給スルコト

一 命令書ノ規定ニ違背シタルトキハ契約ヲ解除シ助成金ノ支給ヲ廢止シ既ニ支給シタル助成金ヲ還納セシメ又ハ所爲ノ輕重ニ從ヒ相當ノ違約金ヲ徵收スルコトアルヘキコト

説明

遠洋航海助成ノ爲海運業者ニ對シ助成スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

優秀船舶建造助成金

優秀船舶建造助成ノ爲船舶ヲ建造スル者ニ對シ左ニ掲クル金額以内ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

一 支出年度割

第一種船

昭和十二年度
昭和十三年度
昭和十四年度
昭和十五年度
昭和十六年度
昭和十七年度
昭和十八年度
昭和十九年度
昭和二十年度
昭和二十一年度
昭和二十二年
昭和二十三年
昭和二十四年
昭和二十五年

二〇、八一三
一四五、六八八
五八八、四八四
一、四二八、八三九
二、五四三、九九九
三、二九三、八八〇
三、二九三、八八〇
三、二九三、八八〇
三、二九三、八八〇
三、二九三、八八〇
三、二九三、八八〇
三、二九三、八八〇
三、二九三、八八〇
三、二九三、八八〇
三、二九三、八八〇

昭和二十六年度	三、二九三、八八〇
昭和二十七年	三、一八四、〇八四
昭和二十八年	二、六三五、一〇四
昭和二十九年	一、二〇七、七五六

計

四四、六九三、五六七

第二種船

昭和十二年度	三八〇、〇〇〇
昭和十三年度	一、八二〇、〇〇〇
昭和十四年度	二、〇〇〇、〇〇〇
昭和十五年度	一、八〇〇、〇〇〇
計	六、〇〇〇、〇〇〇

二條 件

一助成金ノ交付ヲ受クヘキ者ハ帝國臣民又ハ帝國臣民ノミヲ社員若ハ株主トスル會社ナルコト

一 建造セラルヘキ船舶ハ遞信大臣ノ特ニ認ムル場合ノ外總噸數六千噸以上、五分ノ一載荷状態ニテ正常最大馬力ニ對シ速力十九節以上ニシテ旅客定員カ船ノ長サ(メートル)ノ自乗ヲ一〇〇ニテ除シタル數以上ノ鋼製汽船(第一種船ト稱ス)又ハ旅客定員カ十二名以下ノ鋼製汽船(第二種船ト稱ス)ナルコト

一 建造セラルヘキ船舶ハ内地造船所ニ於テ之ヲ建造スルコトヲ要シ其ノ建造ニ付テハ豫メ遞信大臣ノ承認ヲ受クヘキコト

一 助成金ハ命令書ノ定ムル所ニ依リ支給スルコト

一 建造シタル第一種船ハ遞信大臣ノ命スル條件ニ從ヒ其ノ指定スル航路ニ之ヲ就航セシムヘキコト

一 助成金ノ交付ヲ受ケ建造シタル船舶ハ遞信大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ承認ヲ受クルニアラサレハ之ヲ擔保ニ供シ又ハ讓渡スルコトヲ得サルコト

一 命令書ノ規定ニ違背シタルトキハ契約ヲ解除シ助成金ノ支給ヲ廢止シ既ニ支給シタル助成金ヲ還納セシメ又ハ所爲ノ輕重ニ從ヒ相當ノ違約金ヲ徴收スルコトアルヘキコト

説明

優秀船舶ヲ建造スル者ニ對シ助成スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

特別會計

大藏省所管

印刷局

印刷用物品購入費

印刷用物品購入ノ爲事業費拾六萬五千七百八拾五圓材料素品費參拾六萬七千九拾貳圓ヲ限リ昭和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

郵便切手類、印紙類及兌換券類等ノ印刷ニ使用スル物品ニシテ之カ購入ニ多クノ日子ヲ要スルモノハ前年度ニ於テ注文ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

專賣局

專賣品及同原料竝材料及消耗品購入回送費

專賣品及同原料竝材料及消耗品ノ購入又ハ回送ノ爲事業費參拾九萬參千圓材料素品費百參拾壹萬六千圓專賣品竝アルコール原料賠償及購買費百參拾六萬千圓ヲ限り昭和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

專賣品及同原料竝材料及消耗品ニシテ之カ購入又ハ回送ニ多クノ日子ヲ要スルモノハ前年度ニ於テ注文又ハ回送契約ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

關東局

專賣品原料購入費

專賣阿片購入ノ爲事業費七拾萬圓ヲ限り昭和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

阿片ハ相場ノ關係上時機ヲ見計ヒ前年度ニ於テ購入契約ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

逓信事業用品購入費

逓信事業ニ要スル物品購入ノ爲逓信事業費拾萬圓ヲ限り昭和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

逓信事業ニ要スル物品ニシテ年度ノ初ニ要スルモノハ前年度ニ於テ注文ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

陸軍省所管

陸軍造兵廠

事業用器具機械消耗品及材料素品購入費並兵器部品加工料

事業ニ要スル器具機械消耗品及材料素品購入並兵器部品加工ノ爲事業費貳百五十萬圓材料素品費參百五十萬圓ヲ限り昭和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度

ニ於テ結フコトヲ得

説明

事業用器具機械消耗品及材料素品並兵器部品部外加工ニシテ年度ノ初ニ要スルモノ又ハ之カ製造、加工ニ多クノ日子ヲ要スルモノハ前年度ニ於テ注文ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

千住製絨所

事業用器具機械消耗品及材料素品購入費

事業用器具機械消耗品及材料素品購入ノ爲事業費八萬四千圓材料素品費貳百拾八萬七千圓ヲ限リ昭和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

事業ニ要スル器具機械消耗品及材料素品ニシテ年度ノ初ニ要スルモノ又ハ之カ製造ニ多クノ日子ヲ要スルモノハ前年度ニ於テ注文ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

海軍省所管

海軍工廠資金

造船造兵材料購入費

造船造兵ニ要スル材料物品費千五百萬圓ヲ限リ昭和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ
契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

造船造兵ニ要スル材料ニシテ年度ノ初ニ要スルモノハ前年度ニ於テ注文ヲ爲スノ必要
アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

海軍火藥廠

事業用物品購入費

火藥製造ニ要スル事業用物品費七拾萬圓ヲ限リ昭和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ
契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

火薬製造ニ要スル材料物品及諸機械ニシテ年度ノ初ニ要スルモノハ前年度ニ於テ注文ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

海軍燃料廠

事業用物品購入費

燃料製造ニ要スル事業用物品費參百拾萬圓ヲ限リ昭和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

燃料製造ニ要スル材料物品及諸機械ニシテ年度ノ初ニ要スルモノハ前年度ニ於テ注文ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

逓信省所管

通信事業

用品勘定

通信事業用品購入費

通信事業ニ要スル物品購入費貳千萬圓ヲ限リ昭和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

通信事業ニ要スル物品ニシテ之カ購入ニ多クノ日子ヲ要スルモノハ前年度ニ於テ注文ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

業務勘定

通信事業用證票類調製費

通信事業用證票類調製費四拾萬圓ヲ限リ昭和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

郵便切手、葉書其ノ他通信事業用證票類ニシテ年度ノ初ニ要スルモノハ前年度ニ於テ

注文ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

鐵道省所管

帝國鐵道

用品勘定

用品及工作費

事業ニ要スル物品及電力ノ購入ニ付テハ現在契約額ト併セ總額壹億貳百萬圓ヲ限り昭和十三年度以降五箇年度内ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

事業ニ要スル物品及電力中多量ノ購入ヲ要スルモノハ豫メ數年ニ互リ契約ヲ爲スノ必要アリ又購入ニ多クノ日子ヲ要スルモノ及年度ノ初ニ於テ供給ヲ要スルモノハ前年度ニ於テ購入契約ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

収益勘定

事業費

事業費貳百萬圓ヲ限り昭和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

鐵道線路及建物等ノ保存及補充ニ要スル工事ハ實際ノ必要ニ應ジ隨時著手スヘキモノナルヲ以テ其ノ時期ノ如何ニ依リ年度内ニ完成ニ至ラサルモノアリ又營業用土地建物及船舶ノ借入並電力ノ買入ハ前年度ニ於テ之カ契約ヲ爲スニアラサレハ其ノ目的ヲ達セサルモノアリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

拓務省所管

朝鮮總督府

度量衡用品購入費

巡查被服及帶具購入費

營林事業用品購入費

遞信事業用品購入費

航路標識用品購入費

度量衡ニ要スル物品購入費拾五萬圓巡查被服及帶具購入費四拾萬圓營林事業ニ要スル物品購入費拾壹萬圓電信電話線保守工事及電信電話事業ニ要スル物品購入費貳拾萬圓航路標識事業ニ要スル物品購入費四萬圓ヲ限リ昭和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

度量衡用品、巡查被服及帶具、營林事業用品、遞信事業用品及航路標識用品ニシテ之カ購入ニ多クノ日子ヲ要スルモノ及年度ノ初ニ要スルモノハ前年度ニ於テ注文ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

專賣品及同原料竝材料及消耗品購入回送費

鹽購買及回送費

專賣品、同原料、材料及消耗品竝鹽ノ購入又ハ回送ノ爲事業費百七拾萬圓ヲ限リ昭和十三年

度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

、説明

專賣品、同原料、材料及消耗品並鹽ニシテ之カ購入又ハ回送ニ多クノ日子ヲ要スルモノハ前年度ニ於テ注文又ハ回送契約ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

鐵道事業費

鐵道事業費貳拾五萬圓ヲ限り昭和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

鐵道線路及建物ノ保存及補充ニ要スル工事ハ實際ノ必要ニ應シ隨時著手スヘキモノナルヲ以テ其ノ時期ノ如何ニ依リ翌年度ニ互リ工事ヲ施行スヘキ場合アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

地方土木費補助

地方土木費補助トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十一年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度	五、〇七一、六六四
昭和十三年度	五、九一一、六〇一
昭和十四年度	六、三三七、六九三
昭和十五年度	六、三三七、六九三
昭和十六年度	六、三三七、六九三
昭和十七年度	六、三三七、六九三
昭和十八年度	六、三三七、六九三
昭和十九年度	六、三三七、六九三
昭和二十年度	六、三三七、六九三
昭和二十一年度	六、三三七、六九三
昭和二十二年度	六、三三七、六九三
昭和二十三年度	六、三三七、六九三
昭和二十四年度	六、三三七、六九三
昭和二十五年度	六、三三七、六九三

(ヨ) 六七

昭和二十六年	四、四七七、一〇九
昭和二十七年	二、六六七、七〇七
昭和二十八年	一、〇三三、九五二

説明

地方土木費補助ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ更ニ總額貳百參拾八萬四千四百五拾五圓ヲ限リ補助金ヲ増加スル爲年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

中小河川改修事業費補助

中小河川改修事業費補助トシテ總額七千四百九拾四萬四千八百七拾參圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十二年	二七五、二三六
昭和十三年	九九一、八二八
昭和十四年	一、八七〇、三六七
昭和十五年	二、九一〇、八六三
昭和十六年	四、一一三、四二九

昭和十七年度
昭和十八年度
昭和十九年度
昭和二十年度
昭和二十一年度
昭和二十二年
昭和二十三年
昭和二十四年
昭和二十五年
昭和二十六年
昭和二十七年
昭和二十八年
昭和二十九年
昭和三十年度

四、八五八、六九九
四、八五八、六九九
四、八五八、六九九
四、八五八、六九九
四、八五八、六九九
四、八五八、六九九
四、八五八、六九九
四、八五八、六九九
四、八五八、六九九
四、八五八、六九九
四、八五八、六九九
四、二一〇、九一一
三、四〇一、一八五
二、四二九、五〇二

(三)

六九

昭和三十一年度

計

一、二九五、八六三
七四、九四四、八七三

(e) 七〇

説明

道ニ於テ施行スル中小河川改修事業ニ對シ補助スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契
約ヲ結フヲ要ス

京城市街道路改修工事費補助

京城市街道路改修工事費補助トシテ總額百八拾萬圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出ス
ルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十二年度

三六〇、〇〇〇

昭和十三年度

三六〇、〇〇〇

昭和十四年度

三六〇、〇〇〇

昭和十五年度

三六〇、〇〇〇

昭和十六年度

三六〇、〇〇〇

計

一、八〇〇、〇〇〇

説明

京城府ノ經營ニ係ル市街道路改修工事ニ對シ補助スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

汀羅漁港修築工事費補助

汀羅漁港修築工事費補助トシテ總額拾八萬五千圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十二年度

一〇〇、〇〇〇

昭和十三年度

八五、〇〇〇

計

一八五、〇〇〇

説明

江原道ノ經營ニ係ル汀羅漁港修築工事ニ對シ補助スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

地方砂防事業費補助

地方砂防事業費補助トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

(ヨ) 七一

昭和十二年度	六五二、〇七六
昭和十三年度	九七〇、四三四
昭和十四年度	一、二八八、七九二
昭和十五年度	一、六〇七、一五〇
昭和十六年度	一、九二五、五〇八
昭和十七年度	一、二四三、八六六
昭和十八年度	一、五六二、二二四
昭和十九年度	二、八七七、一五三
昭和二十年度	三、一四八、九九八
昭和二十一年度	三、三六八、一八七
昭和二十二年度	三、五六五、九四二
昭和二十三年度	三、七三五、八三三
昭和二十四年度	三、九〇五、七二四
昭和二十五年度	四、〇七五、六一五

昭和二十六年
昭和二十七年
昭和二十八年
昭和二十九年
昭和三十年
昭和三十一年
昭和三十二年
昭和三十三年
昭和三十四年
昭和三十五年
昭和三十六年
昭和三十七年
昭和三十八年
昭和三十九年

三、九八一、九一一
三、八二四、二四七
三、五〇五、八八九
三、一八七、五三一
二、八六九、一七三
二、五五〇、八一五
二、二三二、四五七
一、九一四、〇九九
一、五九五、七四一
一、二八五、四五六
一、〇六五、六四三
八四七、三〇一
六七七、四一〇
五〇七、五一九

昭和四十年 度
昭和四十一年 度

三三七、六二八
一六七、七三七

(ヨ) 七四

説明

地方砂防事業費補助ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ更ニ總額五千八百九拾八萬八千五百五拾九圓ヲ限リ補助金ヲ増加スル爲年割額ヲ改定スルノ必要アリ
依テ前記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

自作農創設維持補助金

自作農創設維持補助金トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年 度	一五〇、七六三
昭和十三年 度	一六五、〇七一
昭和十四年 度	一五六、六六四
昭和十五年 度	一五六、六六四
昭和十六年 度	一五六、六六四
昭和十七年 度	一五六、六六四

昭和十八年度
昭和十九年度
昭和二十年度
昭和二十一年度
昭和二十二年
昭和二十三年度
昭和二十四年度
昭和二十五年
昭和二十六年
昭和二十七年
昭和二十八年
昭和二十九年
昭和三十年度
昭和三十一年度

一五六、六六四
一五六、六六四
一五六、六六四
一五六、六六四
一五六、六六四
一五六、六六四
一五六、六六四
一五六、六六四
一五六、六六四
一五六、六六四
一五六、六六四
一五六、六六四
一五六、六六四
一五六、六六四

昭和三十一年度	一二八、七七九
昭和三十三年度	一二八、七七九
昭和三十四年度	一〇〇、八九四
昭和三十五年度	七三、〇〇九
昭和三十六年度	四五、五〇一
昭和三十七年度	一七、九九三

説明

自作農創設維持補助金ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ更ニ總額四拾五萬八千貳百參拾貳圓ヲ限リ補助金ヲ増加スル爲年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

米穀貯藏資金利子補給

米穀貯藏資金利子補給トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度	一、五二五、一二三
昭和十三年度	一、一〇一、三六七

米穀保管料補助

米穀保管料補助トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度

三一〇、〇八〇

昭和十三年度

一二二、七二〇

説明

米穀貯蔵資金利子補給及米穀保管料補助ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

古米格補助

古米格補助トシテ總額參百八拾四萬八千圓ヲ限リ昭和十三年度ニ於テ支出スルノ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

古米格ハ米穀自治管理法ニ依リ過剩米穀ノ統制ヲ爲サシムル爲メ米穀統制組合並同組合員等ニ對シ補助スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

災害林地復舊費補助

災害林地復舊費補助トシテ總額百參拾八萬九千貳百圓ヲ限り左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出
スルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十二年度 四四九、六〇〇

昭和十三年度 四四九、六〇〇

昭和十四年度 四九〇、〇〇〇

計 一、三八九、二〇〇

説明

道ニ於テ施行スル災害林地ノ復舊事業ニ對シ補助スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ
契約ヲ結フヲ要ス

道路河川其他風水害復舊費補助

道路河川其他風水害復舊費補助トシテ總額參百五萬七千八百六拾圓ヲ限り左ノ年割ノ範圍
内ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十二年度 四八、九三九

昭和十三年度	一五〇、四七三
昭和十四年度	一九八、二四二
昭和十五年度	一九八、二四二
昭和十六年度	一九八、二四二
昭和十七年度	一九八、二四二
昭和十八年度	一九八、二四二
昭和十九年度	一九八、二四二
昭和二十年度	一九八、二四二
昭和二十一年度	一九八、二四二
昭和二十二年度	一九八、二四二
昭和二十三年度	一九八、二四二
昭和二十四年度	一九八、二四二
昭和二十五年	一九八、二四二
昭和二十六年	一九八、二四二

昭和二十七年 度

一九八、二四二

昭和二十八 年度

八三、〇六〇

計

三、〇五七、八六〇

説明

地方公共團體ニ於テ施行スル道路河川其他風水害復舊事業ニ對シ補助スルノ必要アリ
依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

朝鮮鐵道用品資金

鐵道及自動車用品購入費

鐵道及自動車事業ニ要スル物品ノ購入ニ付テハ現在契約額ト併セ總額千五百萬圓ヲ限リ昭
和十三年度以降三箇年度内ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコ
トヲ得

説明

鐵道ノ建設及改良工事竝自動車事業等ニ要スル物品中多量ノ購入ヲ要スルモノハ豫メ
數年ニ互リ契約ヲ爲スノ必要アリ又購入ニ多クノ日子ヲ要スルモノ及年度ノ初ニ於テ

供給ヲ要スルモノハ前年度ニ於テ購入契約ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ
之カ契約ヲ結フヲ要ス

臺灣總督府

度量衡器及材料購入費

度量衡器及材料購入ノ爲度量衡費五萬圓ヲ限リ昭和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ
契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

度量衡器並其ノ製作及修覆材料ニシテ之カ購入ニ多クノ日子ヲ要スルモノ及年度ノ初
ニ要スルモノハ前年度ニ於テ注文ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約
ヲ結フヲ要ス

遞信事業用品購入費

遞信事業ニ要スル物品購入ノ爲遞信事業費拾萬圓及電信電話建設及改良費拾萬圓ヲ限リ昭
和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

遞信事業ニ要スル物品ニシテ之カ購入ニ多クノ日子ヲ要スルモノ及年度ノ初ニ要スルモノハ前年度ニ於テ注文ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

專賣品包装材料及器具機械購入費

專賣品包装材料及器具機械購入ノ爲專賣局事業費參拾萬圓ヲ限り昭和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

專賣品包装材料ハ經理上ノ都合ニ依リ翌年度ニ於ケル所要額ヲ豫メ注文スルノ必要アリ又器具機械ノ内之カ購入ニ多クノ日子ヲ要スルモノ及年度ノ初ニ要スルモノハ前年度ニ於テ注文ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

專賣品委託販賣諸費

專賣品委託販賣諸費トシテ專賣局事業費參拾萬圓ヲ限り昭和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

樟腦ノ輸出ニ付テハ委託販賣業者ヲシテ取扱ハシムル爲之カ運賃及手数料等ノ支拂ニ
關シ前年度ニ於テ契約ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要
ス

專賣品及同原料購入費

專賣品及同原料購入ノ爲專賣品補償及購買費參百貳拾萬圓ヲ限リ昭和十三年度ニ於テ國庫
ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

酒類及其ノ原料、阿片原料、外國製造煙草並臺灣製造煙草ノ原料中外國產葉煙草ハ相場
ノ關係上時機ヲ見計ヒ前年度ニ於テ購入契約ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於
テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

森林作業用器具機械及材料購入費

森林作業用器具機械及材料購入ノ爲斫伐事業費拾參萬圓ヲ限リ昭和十三年度ニ於テ國庫ノ
負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

森林作業ニ要スル器具機械及材料ニシテ之カ購入ニ多クノ日子ヲ要スルモノ及年度ノ初ニ要スルモノハ前年度ニ於テ注文ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

輸出補償金

輸出補償金トシテ總額貳拾壹萬七千五百圓ヲ限リ昭和十二年度以降三箇年度内ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

輸出獎勵ノ爲輸出手形買取銀行ノ損失ニ對シ補償金ヲ交付スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

米穀貯藏資金利子補給

米穀貯藏資金利子補給トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度

九七、一九六

昭和十三年度

一〇三、四〇〇

説明

米穀貯蔵資金利子補給ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

古米格補助

古米格補助トシテ總額四拾八萬四千圓ヲ限り昭和十三年度ニ於テ支出スルノ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

古米格ハ米穀自治管理法ニ依リ過剩米穀ノ統制ヲ爲サシムル爲米穀統制組合員等ニ對シ補助スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

花蓮港街水道擴張工事費補助

花蓮港街水道擴張工事費補助トシテ總額參拾六萬貳千五百六拾貳圓ヲ限り左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十一年度

一二〇、八五四

昭和十三年度

一二〇、八五四

昭和十四年度

計

一二〇、八五四
三六二、五六二

説明

花蓮港街水道擴張工事費ニ對シ補助スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

麻豆佳里街水道工事費補助

麻豆佳里街水道工事費補助トシテ總額貳拾萬貳千參百五拾參圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十二年度

六七、四五二

昭和十三年度

六七、四五二

昭和十四年度

六七、四五二

計

二〇二、三五三

説明

麻豆佳里街水道工事費ニ對シ補助スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ

要ス

金融組合資金融通損失補償

金融組合資金融通損失補償制度實施ノ爲補償金トシテ總額拾四萬千六拾圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十二年度

四七、〇二〇

昭和十三年度

九四、〇四〇

計

一四一、〇六〇

説明

南支那及南洋所在邦人ノ金融圓滑ヲ圖ル爲其ノ組織スル金融組合ニ對スル銀行ノ資金融通ニ關シ損失補償制度ヲ設クルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

臺灣官設鐵道用品資金

鐵道用品購入費

鐵道及自動車事業ニ要スル物品購入費貳百萬圓ヲ限リ昭和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

鐵道及自動車事業ニ要スル物品ニシテ之カ購入ニ多クノ日子ヲ要スルモノ及年度ノ初ニ要スルモノハ前年度ニ於テ注文ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス

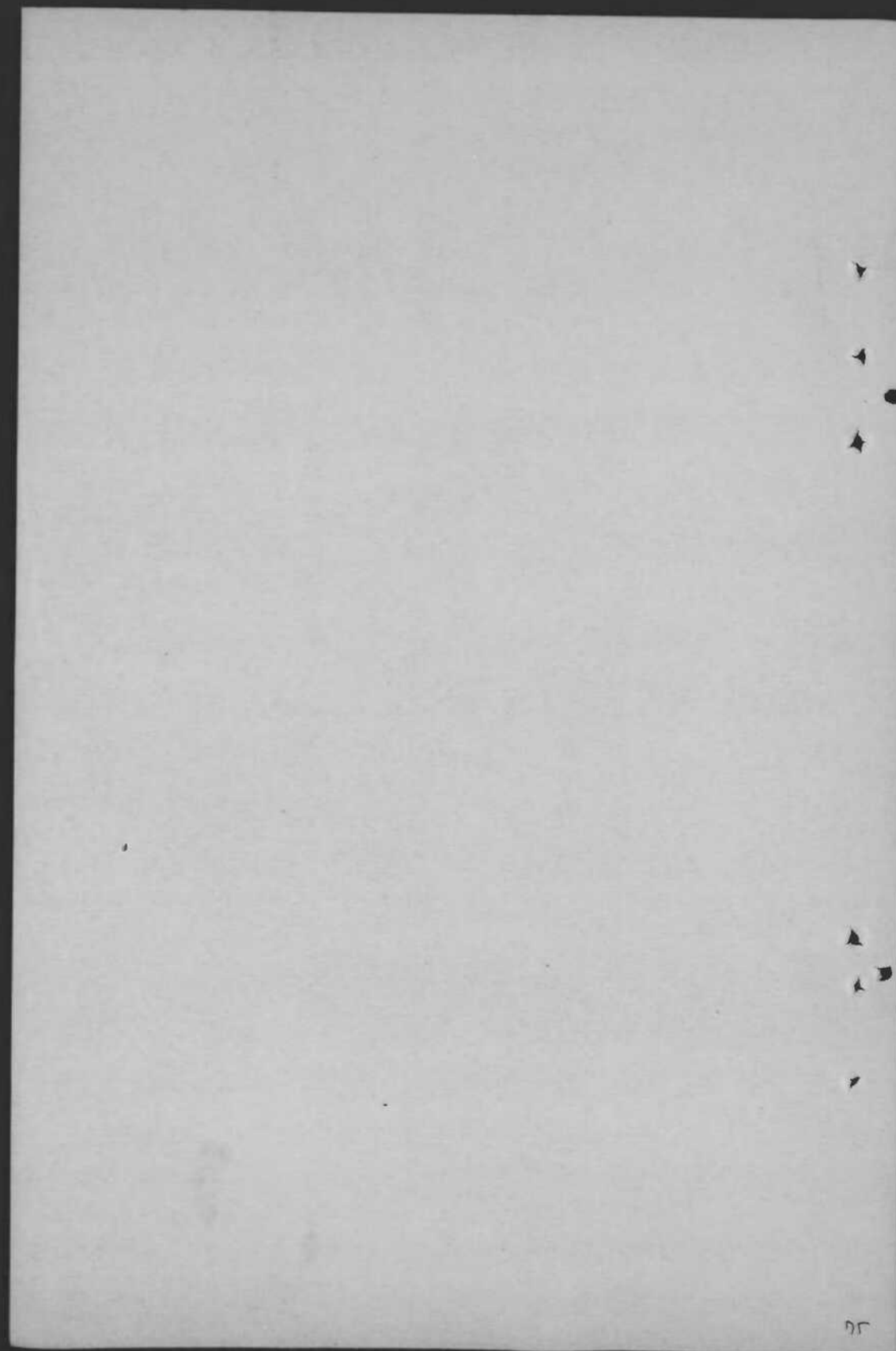
樺太廳

鐵道用品購入費

鐵道事業ニ要スル物品購入費拾貳萬九千圓ヲ限リ昭和十三年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ昭和十二年度ニ於テ結フコトヲ得

説明

鐵道軌條、枕木及車輛修繕用品ニシテ年度ノ初ニ要スルモノハ前年度ニ於テ注文ヲ爲スノ必要アリ依テ昭和十二年度ニ於テ之カ契約ヲ結フヲ要ス



裏
面
白
紙

25

(追第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル件

裏面白紙

目 録

一般會計

内務省所管

農林省所管

商工省所管

逓信省所管

拓務省所管

特別會計

大藏省所管

關東局

拓務省所管

朝鮮總督府

一頁 一 二 三 五 八 一 一 一 四 一 四

裏面白紙

一般會計

内務省所管

災害土木費補助

新潟縣外二十四縣ニ對シ災害土木費補助トシテ總額千參百六拾壹萬千五百圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十二年度	五、二八〇、三〇〇
昭和十三年度	四、八二〇、〇〇〇
昭和十四年度	三、五一一、二〇〇
計	一三、六一一、五〇〇

説明

昭和十一年ノ災害ニ依ル新潟縣外二十四縣ノ災害土木費ニ對シ補助スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

北海道災害土木費補助

北海道災害土木費補助トシテ總額百貳拾七萬參千七百八拾九圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍内ニ

於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

(エ) 二

昭和十二年度

四二〇、〇〇〇

昭和十三年度

四四〇、〇〇〇

昭和十四年度

四一三、七八九

計

一、二七三、七八九

説明

昭和十一年ノ災害ニ依ル北海道地方費等ノ災害土木費ニ對シ補助スルノ必要アリ依テ
年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

農林省所管

耕地事業助成金

耕地事業助成金トシテ總額百貳拾壹萬參千四百貳拾參圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支
出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十二年度

六五九、六二三

昭和十三年度

五五三、八〇〇

計

一、二一三、四二三

荒廢林地復舊事業助成金

荒廢林地復舊事業助成金トシテ總額拾四萬圓ヲ限り左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契
約ヲ結フコトヲ得

昭和十二年度

七〇、〇〇〇

昭和十三年度

七〇、〇〇〇

計

一四〇、〇〇〇

説明

耕地事業助成金及荒廢林地復舊事業助成金ノ支出年度割改定ニ關シテハ曩ニ第七十回
帝國議會ニ提出シ協賛ヲ求メタルモ昭和十一年ノ風水害ニ依リ更ニ助成金ヲ増加スル
ノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

商工省所管

北樺太石油資源開發助成金

北樺太石油資源開發助成金トシテ總額五百貳拾六萬七千圓ヲ限り左ノ年割ノ範圍内ニ於テ

支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十二年度	六五三、〇〇〇
昭和十三年度	一、一九〇、〇〇〇
昭和十四年度	一、七一四、〇〇〇
昭和十五年度	一、二九〇、〇〇〇
昭和十六年度	四二〇、〇〇〇
計	五、二六七、〇〇〇

説明

北樺太石油資源開發助成金ノ支出年度制改定ニ關シテハ曩ニ第七十回帝國議會ニ提出シ協賛ヲ求メタルモ試掘事業ヲ擴張スル等ノ爲更ニ助成金ヲ増加スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フコトヲ要ス

北樺太石油株式會社債元利保證

政府ハ北樺太石油株式會社カ北樺太ニ於ケル石油試掘事業ノ費用ニ充ツル爲發行スル社債額面參百萬圓ヲ限リ其ノ元利支拂ノ保證ヲ爲スコトヲ得

説明

北樺太石油株式會社社債元利支拂ノ保證限度ノ改定ニ關シテハ曩ニ第七十回帝國議會ニ提出シ協賛ヲ求メタルモ試掘事業ヲ擴張スル等ノ爲更ニ元利保證限度ヲ増加スルノ必要アリ依テ之カ保證ニ關シ契約ヲ結フコトヲ要ス

逓信省所管

京城大連線航空輸送補助

京城大連線航空輸送事業ニ對シ關東局特別會計及朝鮮總督府特別會計ト分擔補助ノ爲昭和十二年度以降五箇年度間左ノ條件ニ依リ左ニ掲クル金額以內ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

一 支出年度割

昭和十二年度	一三〇、〇〇〇
昭和十三年度	一三〇、〇〇〇
昭和十四年度	一三〇、〇〇〇
昭和十五年度	一三〇、〇〇〇
昭和十六年度	一一〇、〇〇〇

二 條 件

一本線路ニハ貨客積載重量八百「キログラム」以上貨客積載容積十五立方「メートル」以上經濟速力一時間二百七十「キロメートル」以上ノ飛行機ヲ命令書ノ定ムル所ニ依リ備フルコト

一本線路ニ於テハ命令書ノ定ムル所ニ依リ原則トシテ昭和十二年六月以降毎年度毎日一往復以上ノ航空ヲ爲スコト

一政府ニ於テ必要ト認ムルトキハ飛行機ノ性能ノ變更又ハ航空回数ノ變更ヲ命スルコトアルヘキコト

一旅客貨物ノ運賃ハ政府ノ認可ヲ得テ之ヲ定ムルコト

一政府ニ於テ必要ト認ムルトキハ旅客貨物ノ運賃ヲ變更セシムルコトアルヘキコト

一政府ハ公益上必要ト認ムルトキハ相當ノ金額ヲ支給シテ本線路ニ使用スル飛行機ヲ買収シ又ハ使用スルヲ得ルコト

政府ハ非常事變ノ際ニ於テ本線路ノ飛行機、格納庫其ノ他ノ設備及乗員並地上勤務員ヲ使用スルヲ得ルコト但シ此ノ場合ニハ相當ノ對價ヲ支給スルコト

一補助ヲ受クル者會社ナル場合ニ於テ取締役若ハ監査役ヲ選任セムトスルトキ又ハ定款ノ變更、利益金ノ處分、社債ノ募集、合併若ハ解散ヲ爲サムトスルトキハ政府ノ認可ヲ受クヘキコト

一補助金ハ命令書ノ定ムル所ニ依リ支給スルコト但シ航空回数ヲ減シタルトキ又ハ前記ノ性能ニ適合セサル飛行機ヲ使用シタルトキハ補助金ノ支給額ヲ減少スルコトアルヘキコト

一命令書ノ規定ニ違背シタルトキハ一回毎ニ所爲ノ輕重ニ從ヒ相當ノ違約金ヲ徴收スルコトアルヘキコト

一契約者義務ヲ他人ニ移轉シタルトキ、正當ノ理由ナクシテ一箇年度間ニ於テ命令書ニ規定スル缺航回数以上ノ缺航ヲ爲シタルトキ、政府カ公益上必要ト認メ飛行機ヲ買収若ハ使用セムトスルヲ拒ミタルトキ、政府カ非常事變ノ際ニ於テ飛行機、格納庫其ノ他ノ設備及乗員並地上勤務員ヲ使用セムトスルヲ拒ミタルトキ、政府ノ認可ヲ受ケスシテ定款ノ變更、利益金ノ處分、社債ノ募集、合併、解散ヲ爲シ若ハ取締役及監査役ヲ選任シタルトキ又ハ外國人ヲ株主ト爲シタルトキハ契約ヲ解除シ補助金ノ支給ヲ廢止シ當該年度内既ニ交付シタル補助金ヲ還納セシムルコト

一前項ニ於テ一箇年度ト稱スルハ其ノ年四月一日ニ起リ翌年三月三十一日ニ終ル期間ヲ謂フ

説明

京城大連線航空輸送事業ニ對シ補助スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

拓務省所管

滿洲拓殖會社出資金

政府ハ日本人ノ滿洲國ニ於ケル移住助成ノ事業ヲ經營スルコトヲ目的トシテ設立セラルル會社ニ對スル出資金トシテ總額千五百萬圓ヲ限り左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

昭和十二年度	九、〇〇〇、〇〇〇
昭和十三年度	一、〇〇〇、〇〇〇
昭和十四年度	五、〇〇〇、〇〇〇
計	一五、〇〇〇、〇〇〇

説明

日本人ノ滿洲國ニ於ケル移住助成ノ事業ヲ經營スルコトヲ目的トスル會社ニ對シ出資スルノ必要アリ依テ前記金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

滿洲拓殖會社債元利保證

政府ハ日本人ノ滿洲國ニ於ケル移住助成ノ事業ヲ經營スルコトヲ目的トシテ設立セラルル會社カ其ノ事業ノ費用ニ充ツル爲發行スル社債ノ元利支拂ニ付左記條件ニ依リ之カ保證ヲ爲スコトヲ得

- 一 社債ノ元利支拂保證ヲ爲スヘキ會社ハ日滿兩國政府ノ出資アルモノニ限ルコト
- 一 社債ノ元利支拂保證ハ日滿兩國政府ノ連帶トスルコト
- 一 政府ニ於テ保證スル社債ノ償還期限ハ起債ノ年ヨリ三十箇年以内ナルコト
- 一 政府ニ於テ保證スル社債金額ハ借換ノ場合ヲ除クノ外其ノ都度帝國議會ノ協賛ヲ經ルコト但シ政府ニ於テ保證スル社債ノ總額ハ貳億千萬圓ヲ超過セサルコト

説明

日本人ノ滿洲國ニ於ケル移住助成ノ事業ヲ經營スルコトヲ目的トスル會社カ其ノ事業ノ費用ニ充ツル爲發行スル社債ノ元利支拂ニ付滿洲國政府ト連帶シテ之カ保證ヲナス

ノ必要アリ依テ之カ保證ニ關シ契約ヲ結フヲ要ス

(E) 10

特別會計

大藏省所管

關東局

京城大連線航空輸送補助

京城大連線航空輸送事業ニ對シ一般會計及朝鮮總督府特別會計ト分擔補助ノ爲昭和十二年
度以降五箇年度間左ノ條件ニ依リ左ニ掲クル金額以內ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得
一 支出年度割

昭和十二年度	一二五、〇〇〇
昭和十三年度	一三五、〇〇〇
昭和十四年度	一三〇、〇〇〇
昭和十五年度	一二〇、〇〇〇
昭和十六年度	一一〇、〇〇〇
計	六三〇、〇〇〇

二條 件

一本線路ニハ貨客積載重量八百「キログラム」以上貨客積載容積十五立方「メートル」以上經濟速力一時間二百七十「キロメートル」以上ノ飛行機ヲ命令書ノ定ムル所ニ依リ備フルコト

一本線路ニ於テハ命令書ノ定ムル所ニ依リ原則トシテ昭和十二年六月以降毎年度毎日一往復以上ノ航空ヲ爲スコト

一政府ニ於テ必要ト認ムルトキハ飛行機ノ性能ノ變更又ハ航空回數ノ變更ヲ命スルコトアルヘキコト

一旅客貨物ノ運賃ハ政府ノ認可ヲ得テ之ヲ定ムルコト

一政府ニ於テ必要ト認ムルトキハ旅客貨物ノ運賃ヲ變更セシムルコトアルヘキコト

一政府ハ公益上必要ト認ムルトキハ相當ノ金額ヲ支給シテ本線路ニ使用スル飛行機ヲ買収シ又ハ使用スルヲ得ルコト

政府ハ非常事變ノ際ニ於テ本線路ノ飛行機、格納庫其ノ他ノ設備及乗員並地上勤務員ヲ使用スルヲ得ルコト但シ此ノ場合ニハ相當ノ對價ヲ支給スルコト

一補助ヲ受クル者會社ナル場合ニ於テ取締役若ハ監査役ヲ選任セムトスルトキ又ハ定款ノ變更、利益金ノ處分、社債ノ募集、合併若ハ解散ヲ爲サムトスルトキハ政府ノ認可ヲ受

クヘキコト

一補助金ハ命令書ノ定ムル所ニ依リ支給スルコト但シ航空回数ヲ減シタルトキ又ハ前記ノ性能ニ適合セサル飛行機ヲ使用シタルトキハ補助金ノ支給額ヲ減少スルコトアルヘキコト

一命令書ノ規定ニ違背シタルトキハ一回毎ニ所爲ノ輕重ニ從ヒ相當ノ違約金ヲ徴收スルコトアルヘキコト

一契約者義務ヲ他人ニ移轉シタルトキ、正當ノ理由ナクシテ一箇年度間ニ於テ命令書ニ規定スル缺航回数以上ノ缺航ヲ爲シタルトキ、政府カ公益上必要ト認メ飛行機ヲ買收若ハ使用セムトスルヲ拒ミタルトキ、政府カ非常事變ノ際ニ於テ飛行機、格納庫其ノ他ノ設備及乗員並地上勤務員ヲ使用セムトスルヲ拒ミタルトキ、政府ノ認可ヲ受ケステ定款ノ變更、利益金ノ處分、社債ノ募集、合併、解散ヲ爲シ若ハ取締役及監査役ヲ選任シタルトキ又ハ外國人ヲ株主ト爲シタルトキハ契約ヲ解除シ補助金ノ支給ヲ廢止シ當該年度内既ニ交付シタル補助金ヲ還納セシムルコト

一前項ニ於テ一箇年度ト稱スルハ其ノ年四月一日ニ起リ翌年三月三十一日ニ終ル期間ヲ謂フ

説明

(ヨ) 一四

京城大連線航空輸送事業ニ對シ補助スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

拓務省所管

朝鮮總督府

朝鮮林業開發株式會社補給

政府ハ朝鮮ニ於テ造林事業ノ經營ヲナシ併セテ民間林業ノ開發ヲナスコトヲ目的トスル會社ニ對シ昭和十二年度以降二十一年間左ノ條件ニ依リ總額七百四拾萬圓ヲ限り補給スルノ契約ヲ結フコトヲ得

一會社ノ株主ハ公共團體、帝國臣民又ハ帝國法人ニシテ社員、株主若ハ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上又ハ議決機關ノ過半數ガ外國人若ハ外國法人ニ屬セザルモノニ限ルコト
一補給金ハ每營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ五ノ割合ニ達セザル場合之ニ達セシムベキ金額ヲ補給シ得ルコト但シ每營業年度ニ於ケル補給金額ハ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ五ノ割合ヲ超ユルコトヲ得ザルコト

毎營業年度ニ於ケル配當シ得ヘキ利益金額ハ當該營業年度ニ於ケル總益金ヨリ總損金ヲ
控除シタル殘額ヨリ更ニ法定積立金ヲ控除シタル額トシ總益金及總損金ハ豫算額及決算
額ヲ基礎トシ政府之ヲ査定スルコト

一 毎營業年度ニ於ケル配當シ得ヘキ利益金額カ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ七ノ割合
ヲ超過スルトキハ其ノ全額ヲ先ツ前號ノ條件ニ依ル補給金ノ償還ニ充ツルコト

一 第二十一營業年度迄毎營業年度ニ於ケル配當シ得ヘキ利益金額カ拂込ミタル株金額ニ對
シ年百分ノ七ノ割合ヲ超過スルトキハ年百分ノ七ヲ超エ百分ノ九迄ノ金額ニ付テハ其ノ
二分ノ一、年百分ノ九ヲ超ユル金額ニ付テハ其ノ金額ヲ配當準備ノ爲別ニ積立ツルコト

一 毎營業年度ニ於テ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ七ノ割合ヲ超過スル配當シ得ヘキ利
益金額アル場合ニ於テ第三號ノ條件ニ依リ其ノ一部ヲ補給金ノ償還ニ充テ尙殘餘アルト
キハ其ノ殘額ハ之ヲ前號ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ七ノ割合ヲ超過シタル當該
營業年度ノ利益金ト看做スコト

一 前二號ノ條件ニ依ル積立金ハ後營業年度ニ於ケル第二號ノ條件ニ依ル補給金ノ計算ニ付
テハ之ヲ配當シ得ヘキ利益金ト看做スコト

一 會社ノ取締役、監査役、支配人其ノ他從業者ノ故意又ハ過失ニ因リテ生シタル利益ノ減少

又ハ損失ハ補給金額ノ算定ニ付テハ之ヲ生セサリシモノト看做スコト

一會社カ他業ヲ營マムトスルトキハ豫メ政府ノ認可ヲ受クヘキコト

一會社ハ毎營業年度ノ豫定事業計畫、營業收支、豫算、決算、資本ノ増加及減少、社債ノ募集償還、借入金ノ借入及償還並利益金ノ處分ニ付豫メ政府ノ認可ヲ受クヘキコト

一會社ハ毎營業年度定時株主總會後遲滞ナク業務及財産ノ狀況ヲ政府ニ報告スルコト

一政府ハ何時ニテモ會社ノ業務及財産ノ狀況ヲ調査シ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトアルヘキコト

一前四號ノ條件ハ助成期間經過後ト雖同様ナルコト

一會社カ補給金交付ノ條件ニ違反シタルトキ、公益ヲ害スル行爲ヲナシタルトキ、會社カ事業ノ全部又ハ一部ヲ休止又ハ廢止シタルトキ、解散ヲ爲シタルトキ若ハ政府ニ於テ會社ノ事業ノ成功困難ト認メタルトキハ補給金ノ全部又ハ一部ノ交付ヲ廢止シ又ハ契約ヲ解除シ既ニ交付シタル補給金ノ全部又ハ一部ヲ還納セシムルコト

説明

朝鮮ニ於テ造林事業ノ經營ヲナシ併セテ民間林業ノ開發ヲナスコトヲ目的トスル會社ニ對シ補給スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

京城大連線航空輸送補助

京城大連線航空輸送事業ニ對シ一般會計及關東局特別會計ト分擔補助ノ爲昭和十二年度以降五箇年度間左ノ條件ニ依リ左ニ掲クル金額以内ヲ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得

一 支出年度割

昭和十二年度	一二五、〇〇〇
昭和十三年度	一三五、〇〇〇
昭和十四年度	一三〇、〇〇〇
昭和十五年度	一二〇、〇〇〇
昭和十六年度	一二〇、〇〇〇
計	六三〇、〇〇〇

二 條件

一本線路ニハ貨客積載重量八百「キログラム」以上貨客積載容積十五立方「メートル」以上經濟速力一時間二百七十「キロメートル」以上ノ飛行機ヲ命令書ノ定ムル所ニ依リ備フルコト

一本線路ニ於テハ命令書ノ定ムル所ニ依リ原則トシテ昭和十二年六月以降毎年度毎日一

往復以上ノ航空ヲ爲スコト

一政府ニ於テ必要ト認ムルトキハ飛行機ノ性能ノ變更又ハ航空回数ノ變更ヲ命スルコトアルヘキコト

一旅客貨物ノ運賃ハ政府ノ認可ヲ得テ之ヲ定ムルコト

一政府ニ於テ必要ト認ムルトキハ旅客貨物ノ運賃ヲ變更セシムルコトアルヘキコト

一政府ハ公益上必要ト認ムルトキハ相當ノ金額ヲ支給シテ本線路ニ使用スル飛行機ヲ買収シ又ハ使用スルヲ得ルコト

政府ハ非常事變ノ際ニ於テ本線路ノ飛行機、格納庫其ノ他ノ設備及乗員竝地上勤務員ヲ使用スルヲ得ルコト但シ此ノ場合ニハ相當ノ對價ヲ支給スルコト

一補助ヲ受クル者會社ナル場合ニ於テ取締役若ハ監査役ヲ選任セムトスルトキ又ハ定款ノ變更、利益金ノ處分、社債ノ募集、合併若ハ解散ヲ爲サムトスルトキハ政府ノ認可ヲ受クヘキコト

一補助金ハ命令書ノ定ムル所ニ依リ支給スルコト但シ航空回数ヲ減シタルトキ又ハ前記ノ性能ニ適合セサル飛行機ヲ使用シタルトキハ補助金ノ支給額ヲ減少スルコトアルヘキコト

一命令書ノ規定ニ違背シタルトキハ一回毎ニ所爲ノ輕重ニ從ヒ相當ノ違約金ヲ徵收スルコトアルヘキコト

一契約者義務ヲ他人ニ移轉シタルトキ、正當ノ理由ナクシテ一箇年度間ニ於テ命令書ニ規定スル缺航回数以上ノ缺航ヲ爲シタルトキ、政府カ公益上必要ト認メ飛行機ヲ買收若ハ使用セムトスルヲ拒ミタルトキ、政府カ非常事變ノ際ニ於テ飛行機、格納庫其ノ他ノ設備及乗員並地上勤務員ヲ使用セムトスルヲ拒ミタルトキ、政府ノ認可ヲ受ケスシテ定款ノ變更、利益金ノ處分、社債ノ募集、合併、解散ヲ爲シ若ハ取締役及監査役ヲ選任シタルトキ又ハ外國人ヲ株主ト爲シタルトキハ契約ヲ解除シ補助金ノ支給ヲ廢止シ當該年度内既ニ交付シタル補助金ヲ還納セシムルコト

一前項ニ於テ一箇年度ト稱スルハ其ノ年四月一日ニ起リ翌年三月三十一日ニ終ル期間ヲ謂フ

説明

京城大連線航空輸送事業ニ對シ補助スルノ必要アリ依テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

参照

各省豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル要求書

(四) 一一一

裏面白紙

目 録

各省豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル要求書

内務省所管

大藏省所管

農林省所管

商工省所管

逓信省所管

拓務省所管

二五頁

三一

三七

四一

四五

五一

(三) 111

裏面白紙

内務省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル要求書

裏面白紙

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル要求書

一般會計

災害土木費補助

昭和十一年ノ災害ニ依ル新潟縣外二十四縣災害土木費ニ對シ補助スルノ必要アリ總額千參百六拾壹萬千五百圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍
内ニ於テ支出スルコトノ契約ヲ結フヲ要ス

科 目	年 度	昭和十二年度	同十三年度	同十四年度	合 計
新潟縣災害土木費補助		二二〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	一八六、九〇〇	六一六、九〇〇
群馬縣災害土木費補助		一八〇、〇〇〇	一八〇、〇〇〇	一五六、六〇〇	五二六、六〇〇
奈良縣災害土木費補助		一五〇、〇〇〇	一四〇、〇〇〇	一三二、九〇〇	四二二、九〇〇
三重縣災害土木費補助		一三〇、三〇〇	一三〇、〇〇〇	一〇四、〇〇〇	三六四、三〇〇
靜岡縣災害土木費補助		二〇〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	一三二、六〇〇	四八二、六〇〇
山梨縣災害土木費補助		三〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	二八七、七〇〇	八八七、七〇〇
岐阜縣災害土木費補助		一八〇、〇〇〇	一三〇、〇〇〇	一二五、一〇〇	四三五、一〇〇
長野縣災害土木費補助		六〇〇、〇〇〇	五八四、二〇〇	五一九、〇〇〇	一、七〇三、二〇〇
宮城縣災害土木費補助		一二〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	九二、一〇〇	三一二、一〇〇
福島縣災害土木費補助		一〇〇、〇〇〇	九三、八〇〇	〇	一九三、八〇〇
青森縣災害土木費補助		四一四、〇〇〇	四四〇、〇〇〇	四〇一、四〇〇	一二五五、四〇〇
秋田縣災害土木費補助		二〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	一九二、六〇〇	五九二、六〇〇

科 目	年 度	昭和十二年度	同十三年度	同十四年度	合 計
富山縣災害土木費補助		四〇〇,〇〇〇	四〇〇,〇〇〇	三六八,三〇〇	一,一六八,三〇〇
島根縣災害土木費補助		一八〇,〇〇〇	一七〇,〇〇〇	一五五,六〇〇	五〇五,六〇〇
山口縣災害土木費補助		一五〇,〇〇〇	一二〇,〇〇〇	八二,六〇〇	三五二,六〇〇
徳島縣災害土木費補助		一五〇,〇〇〇	一四八,六〇〇	〇	二九八,六〇〇
高知縣災害土木費補助		一〇〇,〇〇〇	九四,八〇〇	〇	一九四,八〇〇
佐賀縣災害土木費補助		一四〇,〇〇〇	一二〇,〇〇〇	一一九,七〇〇	三七九,七〇〇
熊本縣災害土木費補助		一五〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	一一一,〇〇〇	三九一,〇〇〇
宮崎縣災害土木費補助		三八五,〇〇〇	三六〇,〇〇〇	三四三,一〇〇	一,〇八八,一〇〇
沖縄縣災害土木費補助		三五〇,〇〇〇	三〇三,三〇〇	〇	六五三,三〇〇
愛知縣災害土木費補助		一〇〇,〇〇〇	七〇,七〇〇	〇	一七〇,七〇〇
山形縣災害土木費補助		一二〇,〇〇〇	一一〇,七〇〇	〇	二三〇,七〇〇
福井縣災害土木費補助		一〇〇,〇〇〇	四三,三〇〇	〇	一四三,三〇〇
鹿児島縣災害土木費補助		一五一,〇〇〇	一〇〇,六〇〇	〇	二五一,六〇〇
合 計		五,二八〇,三〇〇	四,八二〇,〇〇〇	三,五一一,二〇〇	一三,六一一,五〇〇

北海道災害土木費補助

昭和十一年ノ災害ニ依ル北海道地方費等ノ災害土木費ニ對シ補助スルノ必要アリ總額百貳拾七萬參千七百八拾九圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルコトノ契約ヲ結フヲ要ス

年 度 科 目	北海道縣災害土木費補助
昭和十二年度	四二〇、〇〇〇 四
同十三年度	四四〇、〇〇〇
同十四年度	四一三、七八九
合 計	一、二七三、七八九

裏面白紙

大藏省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル要求書

裏面白紙

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル要求書

特別會計

關東局

京城大連線航空輸送補助

京城大連線航空輸送事業ニ對シ一般會計及朝鮮總督府特別會計ト分擔補助ノ要アル爲昭和十二年度以降五箇年度間左ニ掲クル金額以
内ヲ支給スルノ契約ヲ結フコトヲ要ス

歳出臨時部

第二款補助費

第五項航空輸送補助

年 度	金 額
昭和十二年度	一二五、〇〇〇圓
昭和十三年度	一三五、〇〇〇
昭和十四年度	一三〇、〇〇〇
昭和十五年度	一二〇、〇〇〇
昭和十六年度	一二〇、〇〇〇
計	六三〇、〇〇〇

前記補助ニ關スル條件左ノ如シ

- 一 本線路ニハ貨客積載重量八百「キログラム」以上貨客積載容積十五立方「メートル」以上經濟速力一時間二百七十「キロメートル」以上ノ飛行機ヲ命令書ノ定ムル所ニ依リ備フルコト
- 一 本線路ニ於テハ命令書ノ定ムル所ニ依リ原則トシテ昭和十二年六月以降毎年度毎日一往復以上ノ航空ヲ爲スコト
- 一 政府ニ於テ必要ト認ムルトキハ飛行機ノ性能ノ變更又ハ航空回数ノ變更ヲ命スルコトアルヘキコト
- 一 旅客貨物ノ運賃ハ政府ノ認可ヲ得テ之ヲ定ムルコト
- 一 政府ニ於テ必要ト認ムルトキハ旅客貨物ノ運賃ヲ變更セシムルコトアルヘキコト
- 一 政府ハ公益上必要ト認ムルトキハ相當ノ金額ヲ支給シテ本線路ニ使用スル飛行機ヲ買収シ又ハ使用スルヲ得ルコト
- 一 政府ハ非常事變ノ際ニ於テ本線路ノ飛行機、格納庫其ノ他ノ設備及乗員竝地上勤務員ヲ使用スルヲ得ルコト但シ此ノ場合ニハ相當ノ對價ヲ支給スルコト
- 一 補助ヲ受クル者會社ナル場合ニ於テ取締役若ハ監査役ヲ選任セムトスルトキ又ハ定款ノ變更、利益金ノ處分、社債ノ募集、合併若ハ解散ヲ爲サムトスルトキハ政府ノ認可ヲ受クヘキコト
- 一 補助金ハ命令書ノ定ムル所ニ依リ支給スルコト但シ航空回数ヲ減シタルトキ又ハ前記ノ性能ニ適合セサル飛行機ヲ使用シタルトキハ補助金ノ支給額ヲ減少スルコトアルヘキコト
- 一 命令書ノ規定ニ違背シタルトキハ一回毎ニ所爲ノ輕重ニ從ヒ相當ノ違約金ヲ徵收スルコトアルヘキコト
- 一 契約者義務ヲ他人ニ移轉シタルトキ、正當ノ理由ナクシテ一箇年度間ニ於テ命令書ニ規定スル缺航回数以上ノ缺航ヲ爲シタルトキ、政府ハ公益上必要ト認メ飛行機ヲ買収若ハ使用セムトスルヲ拒ミタルトキ、政府ハ非常事變ノ際ニ於テ飛行機、格納庫其ノ他ノ設備及乗員竝地上勤務員ヲ使用セムトスルヲ拒ミタルトキ、政府ノ認可ヲ受ケスシテ定款ノ變更、利益金ノ處分、社債ノ募集、合

裏面白紙

併解散ヲ爲シ若ハ取締役及監査役ヲ選任シタルトキ又ハ外國人ヲ株主ト爲シタルトキハ契約ヲ解除シ補助金ノ支給ヲ廢止シ當
該年度内既ニ交付シタル補助金ヲ還納セシムルコト
一 前項ニ於テ一箇年度ト稱スルハ其ノ年四月一日ニ起リ翌年三月三十一日ニ終ル期間ヲ謂フ

農林省所管

豫算外國庫ノ負擔卜ナルヘキ契約ニ關スル要求書

裏面白紙

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル要求書

一般會計

一 災害施設助成金

耕地事業助成金及荒廢林地復舊事業助成金ノ支出年度割改定ニ關シテハ曩ニ第七十回帝國議會ニ提出シ協賛ヲ求メタルモ昭和十一年ノ風水害ニ依リ更ニ助成金ヲ増加スルノ必要アルヲ以テ左記年割額ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ締結スルヲ要ス

年 度	耕地事業助成金			荒廢林地復舊事業助成金			計		
	既定額	増 加 額	求 ノ 分 要 今 同 分 要	既定額	増 加 額	求 ノ 分 要 今 同 分 要	既定額	増 加 額	求 ノ 分 要 今 同 分 要
十一年度	七、七〇〇、〇〇〇圓	一、四七九、六四〇圓	六、五九六、三三三圓	一、三九一、八九五圓	五、六五九、九六九圓	七、〇〇〇、〇〇〇圓	九、一三三、一六四圓	二、四三三、一六四圓	七、〇〇〇、〇〇〇圓
十二年度	四、七六八、一〇七圓	一、〇五五、〇〇〇圓	六、三三三、一〇七圓	一、四九四、四九五圓	五、九六、一九八圓	七、〇〇〇、〇〇〇圓	六、三三三、一〇七圓	二、四三三、一〇七圓	六、三三三、一〇七圓
十四年度	一、六三三、一九三圓	〇	一、六三三、一九三圓	〇	〇	〇	一、六三三、一九三圓	〇	一、六三三、一九三圓
計	一四、一三七、六七四圓	二、五三三、七三五圓	一三、三三三、三三三圓	二、八八六、三五〇圓	一一、六二一、五五七圓	一四、〇〇〇、〇〇〇圓	四一、八八五、四四七圓	一七、〇〇〇、〇〇〇圓	三九、九八五、四四七圓

商工省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル要求書

裏面白紙

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル要求書

一般會計

一 北樺太石油資源開發助成金

北樺太石油資源開發助成金ノ支出年度割改定ニ關シテハ農ニ第七十回帝國議會ニ提出シ協賛ヲ求メタルモ試掘事業ヲ擴張スル等ノ爲更ニ助成金ヲ増加スルノ必要アルヲ以テ左記年割額ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ締結スルヲ要ス

年 度	既 定 額	増 加	改 定 額
昭和十二年度	一、三二四、〇〇〇 円	八四八、〇〇〇 円	二、一七二、〇〇〇 円
昭和十三年度	一、一七六、〇〇〇	一、二六四、〇〇〇	二、四四〇、〇〇〇
昭和十四年度	六、一六、〇〇〇	一、二七二、〇〇〇	七、四三二、〇〇〇
昭和十五年度	二、二四〇、〇〇〇	六四〇、〇〇〇	二、八八〇、〇〇〇
昭和十六年度	〇	二、一六、〇〇〇	二、一六、〇〇〇
計	三、三四〇、〇〇〇	四、二四〇、〇〇〇	七、五八〇、〇〇〇

二 北樺太石油株式會社債元利保證

政府ハ北樺太石油株式會社カ北樺太東海岸一千平方露里試掘地域ニ於テ行フ試掘事業ノ費用ニ充ツル爲發行スル社債額面五百萬圓ヲ限リ其ノ元利支拂ノ保證ニ關シ契約ヲ爲シ得ルノ件農ニ第七十回帝國議會ニ提出シ協賛ヲ求メタルモ試掘事業ヲ擴張スル等ノ爲更ニ五百萬圓ヲ増加スルノ必要アリ依テ之カ保證ニ關シ契約ヲ締結スルヲ要ス

遞信省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル要求書

裏面白紙

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル要求書

一般會計

京城大連線航空輸送補助

京城大連線航空輸送事業ニ對シ關東局、朝鮮總督府兩特別會計ト分擔補助ノ要アル爲昭和十二年度以降五箇年度間左ニ掲クル金額以
内ヲ支給スルノ契約ヲ結フコトヲ要ス

支出臨時部

第一款 補助及獎勵費

第十二項 航空輸送補助

年 度	金 額
昭和十二年度	一三〇、〇〇〇圓
昭和十三年度	一三〇、〇〇〇圓
昭和十四年度	一三〇、〇〇〇圓
昭和十五年度	一三〇、〇〇〇圓
昭和十六年度	一一〇、〇〇〇圓
計	六三〇、〇〇〇圓

前記補助ニ關スル條件左ノ如シ

一 本線路ニハ貨客積載重量八百キログラム以上貨客積載容積十五立方メートル以上經濟速力一時間二百七十キロメートル以

上ノ飛行機ヲ命令書ノ定ムル所ニ依リ備フルコト

(ヨ) 四八

一 本線路ニ於テハ命令書ノ定ムル所ニ依リ原則トシテ昭和十二年六月以降毎年度毎日一往復以上ノ航空ヲ爲スコト

一 政府ニ於テ必要ト認ムルトキハ飛行機ノ性能ノ變更又ハ航空回数ノ變更ヲ命スルコトアルヘキコト

一 旅客貨物ノ運賃ハ政府ノ認可ヲ得テ之ヲ定ムルコト

一 政府ニ於テ必要ト認ムルトキハ旅客貨物ノ運賃ヲ變更セシムルコトアルヘキコト

一 政府ハ公益上必要ト認ムルトキハ相當ノ金額ヲ支給シテ本線路ニ使用スル飛行機ヲ買収シ又ハ使用スルヲ得ルコト

政府ハ非常事態ノ際ニ於テ本線路ノ飛行機、格納庫其ノ他ノ設備及乗員竝地上勤務員ヲ使用スルヲ得ルコト但シ此ノ場合ニハ相當ノ對價ヲ支給スルコト

一 補助ヲ受クル者會社ナル場合ニ於テ取締役若ハ監査役ヲ選任セムトスルトキ又ハ定款ノ變更、利益金ノ處分、社債ノ募集、合併若ハ解散ヲ爲サムトスルトキハ政府ノ認可ヲ受クヘキコト

一 補助金ハ命令書ノ定ムル所ニ依リ支給スルコト但シ航空回数ヲ減シタルトキ又ハ前記ノ性能ニ適合セサル飛行機ヲ使用シタルトキハ補助金ノ支給額ヲ減少スルコトアルヘキコト

一 命令書ノ規定ニ違背シタルトキハ一回毎ニ所爲ノ輕重ニ從ヒ相當ノ違約金ヲ徴收スルコトアルヘキコト

一 契約者義務ヲ他人ニ移轉シタルトキ、正當ノ理由ナクシテ一箇年度間ニ於テ命令書ニ規定スル、缺航回数以上ノ缺航ヲ爲シタルトキ、政府ハ公益上必要ト認メ飛行機ヲ買収若ハ使用セムトスルヲ拒ミタルトキ、政府ハ非常事態ノ際ニ於テ飛行機、格納庫其ノ他ノ設備及乗員竝地上勤務員ヲ使用セムトスルヲ拒ミタルトキ、政府ノ認可ヲ受ケスシテ定款ノ變更、利益金ノ處分、社債ノ募集、合併、解散ヲ爲シ若ハ取締役及監査役ヲ選任シタルトキ又ハ外國人ヲ株主ト爲シタルトキハ契約ヲ解除シ補助金ノ支給ヲ廢止シ當

裏面白紙

該年度内既ニ交付シタル補助金ヲ還納セシムルコト

一 前項ニ於テ一箇年度ト稱スルハ其ノ年四月一日ニ起リ翌年三月三十一日ニ終ル期間ヲ謂フ

拓務省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル要求書

裏面白紙

(a) 五一

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル要求書

一般會計

一 滿洲拓殖會社出資金

政府ハ日本人ノ滿洲國ニ於ケル移住助成ノ事業ヲ經營スルコトヲ目的トシテ設立セララルル會社ニ對スル出資金トシテ總額千五百萬圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ締結スルヲ要ス

年 度	金 額
昭和十二年度	九〇〇、〇〇〇圓
昭和十三年度	一、〇〇〇、〇〇〇圓
昭和十四年度	五、〇〇〇、〇〇〇圓
計	一五、〇〇〇、〇〇〇圓

二 滿洲拓殖會社債元利保證

政府ハ日本人ノ滿洲國ニ於ケル移住助成ノ事業ヲ經營スルコトヲ目的トシテ設立セララルル會社カ其ノ事業ノ費用ニ充ツル爲發行スル社債ノ元利支拂ニ付左記條件ニ依リ之カ保證ヲ爲スノ必要アリ依テ之カ保證ニ關シ契約ヲ締結スルヲ要ス

- 一 社債ノ元利支拂保證ヲ爲スヘキ會社ハ日滿兩國政府ノ出資アルモノニ限ルコト
- 一 社債ノ元利支拂保證ハ日滿兩國政府ノ連帶トスルコト
- 一 政府ニ於テ保證スル社債ノ償還期限ハ起債ノ年ヨリ三十箇年以内ナルコト

- 一 政府ニ於テ保證スル社債金額ハ借換ノ場合ヲ除クノ外其ノ都度帝國議會ノ協賛ヲ經ルコト但シ政府ニ於テ保證スル社債ノ總額ハ貳億千萬圓ヲ超過セサルコト

特別會計

朝鮮總督府

朝鮮林業開發株式會社補給

政府ハ朝鮮ニ於テ造林事業ノ經營ヲナシ併セテ民間林業ノ開發ヲナスコトヲ目的トスル會社ニ對シ昭和十二年度以降二十一年間左ノ條件ニ依リ總額七百四十萬圓ヲ限リ補給スルノ契約ヲ結フコトヲ要ス

- 一 會社ノ株主ハ公共團體、帝國臣民又ハ帝國法人ニシテ社員、株主若ハ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上又ハ議決機關ノ過半數カ外國人若ハ外國法人ニ屬セサルモノニ限ルコト

- 一 補給金ハ每營業年度ニ於ケル配當シ得ヘキ利益金額カ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ五ノ割合ニ達セサル場合之ニ達セシムヘキ金額ヲ補給シ得ルコト但シ每營業年度ニ於ケル補給金額ハ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ五ノ割合ヲ超ユルコトヲ得サルコト
- 一 每營業年度ニ於ケル配當シ得ヘキ利益金額ハ當該營業年度ニ於ケル總益金ヨリ總損金ヲ控除シタル殘額ヨリ更ニ法定積立金ヲ控除シタル額トシ總益金及總損金ハ豫算額及決算額ヲ基礎トシ政府之ヲ査定スルコト

- 一 每營業年度ニ於ケル配當シ得ヘキ利益金額カ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ七ノ割合ヲ超過スルトキハ其ノ全額ヲ先ツ前號ノ條件ニ依ル補給金ノ償還ニ充ツルコト

- 一 第二十一營業年度迄每營業年度ニ於ケル配當シ得ヘキ利益金額カ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ七ノ割合ヲ超過スルトキハ年

百分ノ七ヲ超エ百分ノ九迄ノ金額ニ付テハ其ノ二分ノ一、年百分ノ九ヲ超ユル金額ニ付テハ其ノ全額ヲ配當準備ノ爲別ニ積立ツルコト

一 毎營業年度ニ於テ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ七ノ割合ヲ超過スル配當シ得ヘキ利益金額アル場合ニ於テ第三號ノ條件ニ依リ其ノ一部ヲ補給金ノ償還ニ充テ尙殘餘アルトキハ其ノ殘額ハ之ヲ前號ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ七ノ割合ヲ超過シタル當該營業年度ノ利益金ト看做スコト

一 前二號ノ條件ニ依ル積立金ハ後營業年度ニ於ケル第二號ノ條件ニ依ル補給金ノ計算ニ付テハ之ヲ配當シ得ヘキ利益金ト看做スコト

一 會社ノ取締役、監査役、支配人其ノ他從業者ノ故意又ハ過失ニ因リテ生シタル利益ノ減少又ハ損失ハ補給金額ノ算定ニ付テハ之ヲ生セザリシモノト看做スコト

一 會社カ他業ヲ營ムトスルトキハ豫メ政府ノ認可ヲ受クヘキコト

一 會社ハ毎營業年度ノ豫定事業計畫、營業收支豫算、決算、資本ノ増加及減少、社債ノ募集償還、借入金ノ借入及償還、利益金ノ處分ニ付豫メ政府ノ認可ヲ受クヘキコト

一 會社ハ毎營業年度定時株主總會後遲滞ナク業務及財産ノ狀況ヲ政府ニ報告スルコト

一 政府ハ何時ニテモ會社ノ業務及財産ノ狀況ヲ調査シ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトアルヘキコト

一 前四號ノ條件ハ助成期間經過後ト雖同様ナルコト

一 會社カ補給金交付ノ條件ニ違反シタルトキ、公益ヲ害スル行爲ヲナシタルトキ、會社カ事業ノ全部又ハ一部ヲ休止又ハ廢止シタルトキ、解散ヲ爲シタルトキ若ハ政府ニ於テ會社ノ事業ノ成功困難ト認メタルトキハ補給金ノ全部又ハ一部ノ交付ヲ廢止シ又ハ契約ヲ解除シ既ニ交付シタル補給金ノ全部又ハ一部ヲ還納セシムルコト

京城大連線航空輸送補助

京城大連線航空輸送事業ニ對シ一般會計及關東局特別會計ト分擔補助ノ要アル爲昭和十二年度以降五箇年度間左ニ掲クル金額以內ヲ支給スルノ契約ヲ結フコトヲ要ス

年 度	金 額
昭和十二年度	一二五、〇〇〇圓
昭和十三年度	一三五、〇〇〇圓
昭和十四年度	一三〇、〇〇〇圓
昭和十五年度	一二〇、〇〇〇圓
昭和十六年度	一二〇、〇〇〇圓
計	六三〇、〇〇〇圓

前記補助ニ關スル條件左ノ如シ

- 一 本線路ニハ貨客積載重量八百(キログラム)以上貨客積載容積十五立方(メートル)以上經濟速力一時間二百七十(キロメートル)以上ノ飛行機ヲ命令書ノ定ムル所ニ依リ備フルコト
- 一 本線路ニ於テハ命令書ノ定ムル所ニ依リ原則トシテ昭和十二年六月以降毎年度毎日一往復以上ノ航空ヲ爲スコト
- 一 政府ニ於テ必要ト認ムルトキハ飛行機ノ性能ノ變更又ハ航空同數ノ變更ヲ命スルコトアルヘキコト
- 一 旅客貨物ノ運賃ハ政府ノ認可ヲ得テ之ヲ定ムルコト
- 一 政府ニ於テ必要ト認ムルトキハ旅客貨物ノ運賃ヲ變更セシムルコトアルヘキコト
- 一 政府ハ公益上必要ト認ムルトキハ相當ノ金額ヲ支給シテ本線路ニ使用スル飛行機ヲ買収シ又ハ使用スルヲ得ルコト

政府ハ非常事變ノ際ニ於テ本線路ノ飛行機、格納庫其ノ他ノ設備及乗員並地上勤務員ヲ使用スルヲ得ルコト但シ此ノ場合ニハ相當ノ對價ヲ支給スルコト

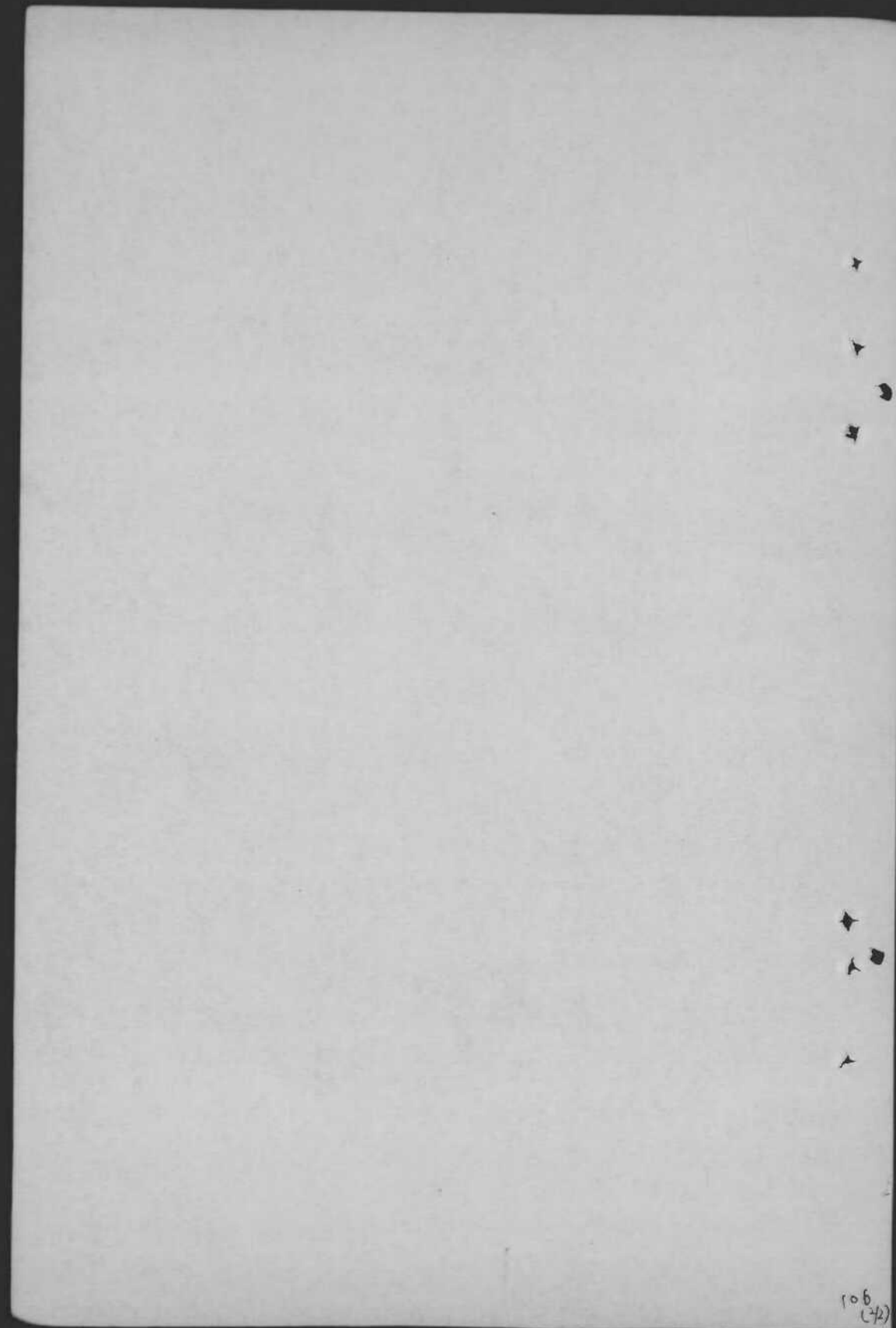
一 補助ヲ受クル者會社ナル場合ニ於テ取締役若ハ監査役ヲ選任セムトスルコト又ハ定款ノ變更、利益金ノ處分、社債ノ募集、合併若ハ解散ヲ爲サントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クヘキコト

一 補助金ハ命令書ノ定ムル所ニ依リ支給スルコト但シ航空回數ヲ減シタルトキ又ハ前記ノ性能ニ適合セサル飛行機ヲ使用シタルトキハ補助金ノ支給額ヲ減少スルコトアルヘキコト

一 命令書ノ規定ニ違背シタルトキハ一回毎ニ所爲ノ輕重ニ從ヒ相當ノ違約金ヲ徴收スルコトアルヘキコト

一 契約者義務ヲ他人ニ移轉シタルトキ、正當ノ理由ナクシテ一箇年度間ニ於テ命令書ニ規定スル缺航回數以上ノ缺航ヲ爲シタルトキ、政府カ公益上必要ト認メ飛行機ヲ買收若ハ使用セムトスルヲ拒ミタルトキ、政府カ非常事變ノ際ニ於テ飛行機、格納庫其ノ他ノ設備及乗員並地上勤務員ヲ使用セムトスルヲ拒ミタルトキ、政府ノ認可ヲ受ケスシテ定款ノ變更、利益金ノ處分、社債ノ募集、合併、解散ヲ爲シ若ハ取締役及監査役ヲ選任シタルトキ又ハ外國人ヲ株主ト爲シタルトキハ契約ヲ解除シ補助金ノ支給ヲ廢止シ當該年度内既ニ交付シタル補助金ヲ還納セシムルコト

一 前項ニ於テ一箇年度ト稱スルハ其ノ年四月一日ニ起リ翌年三月三十一日ニ終ル期間ヲ謂フ



106
(72)

裏
面
白
紙

参考

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル件修正

裏面白紙

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル件中別紙ノ通修正ス

備考

要求書ハ本修正ニ準シ修正ス

裏面白紙

一般會計

外務省所管

地所家屋借料ノ費途ノ本文中「年額百六拾八萬四百五拾壹圓」トアルヲ「年額百六拾六萬九千五百五拾壹圓」ト修正ス

内務省所管

新潟港修築費補助ノ費途ヲ削除ス

宇部港修築費補助ノ費途ノ昭和十二年度ノ金額ヲ一一、〇〇〇圓、昭和十九年度ノ金額ヲ二一

八、九〇〇圓ト修正シ説明中「新潟、宇部兩港」トアルヲ「宇部港」ト修正ス

博多港修築費補助ノ費途ノ昭和十二年度ノ金額ヲ一三二、八〇〇圓、昭和十三年度ノ金額ヲ五二

三、〇五〇圓、昭和十四年度ノ金額ヲ五〇八、七四〇圓、昭和十五年度ノ金額ヲ五〇八、七四〇圓、

昭和十六年度ノ金額ヲ五七一、二四〇圓ト修正ス

中小河川改良費補助ノ費途ノ昭和十二年度ノ金額ヲ五、一四三、一〇〇圓、昭和十三年度ノ金額ヲ

四、五五四、一五〇圓、昭和十四年度ノ金額ヲ三、九〇六、六〇〇圓、昭和十五年度ノ金額ヲ三、〇九

八、三五〇圓、昭和十六年度ノ金額ヲ一、七〇三、〇〇〇圓、昭和十七年度ノ金額ヲ一、五七二、〇〇〇圓、昭和十八年度ノ金額ヲ一、二九九、六〇〇圓ト修正シ説明中「總額千參拾六萬八千圓」トアルヲ「總額七百貳拾七萬貳千六百圓」ト修正ス

地方港湾改良費補助ノ費途ノ昭和十二年度ノ金額ヲ一、二八五、〇〇〇圓、昭和十三年度ノ金額ヲ一、一一九、〇〇〇圓、昭和十四年度ノ金額ヲ八〇五、四〇〇圓、昭和十五年度ノ金額ヲ五六二、〇〇〇圓、昭和十六年度ノ金額ヲ四三三、五〇〇圓、昭和十七年度ノ金額ヲ三〇〇、五〇〇圓ト修正シ説明中「總額貳百貳拾壹萬五千圓」トアルヲ「總額貳百萬圓」ト修正ス
臨海工業地帯施設費補助ノ費途ヲ削除ス

大藏省所管

造船資金貸付補給及損失補償ノ費途ノ本文中「貸付金額壹億圓」トアルヲ「貸付金額七千萬圓」ト修正ス

庶民貸付金庫補助ノ費途ヲ削除ス

農林省所管

用排水幹線改良事業費補助ノ費途ノ昭和十三年度ノ金額ヲ五、〇二一、六三四圓、昭和十四年度ノ金額ヲ三、七九一、九八三圓、昭和十五年度ノ金額ヲ三、四九一、九八三圓、昭和十六年度ノ金額ヲ三、四六六、九八三圓、昭和十七年度ノ金額ヲ二、六四六、九八三圓ト修正シ説明中、總額五百參拾六萬六千貳百五拾圓「トアルヲ」總額四百八拾貳萬九千六百貳拾五圓「ト修正ス

銚子漁港修築費補助

銚子漁港修築費補助トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年	度	一〇〇、〇〇〇
昭和十三年	度	二五〇、〇〇〇
昭和十四年	度	二五〇、〇〇〇
昭和十五年	度	二五〇、〇〇〇
昭和十六年	度	一九〇、〇〇〇
日和佐漁港修築費補助		

日和佐漁港修築費補助トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十三年度

五〇、〇〇〇

昭和十四年度

一一〇、〇〇〇

湊漁港修築費補助

湊漁港修築費補助トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十二年度

一五〇、〇〇〇

昭和十三年度

三〇〇、〇〇〇

昭和十四年度

三二〇、〇〇〇

戸畑漁港修築費補助

戸畑漁港修築費補助トシテ支出スヘキ金額ハ昭和十二年度以降左ノ通り改定ス

昭和十三年度

八〇、〇〇〇

昭和十四年度

一五〇、〇〇〇

説明

銚子、日和佐、湊及戸畑ノ各漁港修築費補助ニ關シテハ曩ニ帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ

事業ヲ繰延フル爲年割額ヲ改定スルノ必要アリ依テ前記年度割金額ノ範圍内ニ於テ年度後ニ互ルノ契約ヲ結フヲ要ス

農村經濟更生特別助成金ノ費途ノ昭和十二年度ノ金額ヲ四、五〇〇、〇〇〇圓、昭和十三年度ノ金額ヲ二、五〇〇、〇〇〇圓ト修正ス

農村經濟更生計畫實行資金利子補給ノ費途ノ昭和十二年度ノ金額ヲ五九、四〇〇圓、昭和十七年度ノ金額ヲ四六、二〇〇圓ト修正ス

逓信省所管

飛行機及發動機等試作獎勵金ノ費途ノ本文中「總額百貳拾萬圓」トアルヲ「總額百萬圓」ト修正シ昭和十二年度ノ金額ヲ五〇〇、〇〇〇圓、昭和十三年度ノ金額ヲ五〇〇、〇〇〇圓、計ノ金額ヲ一、〇〇〇、〇〇〇圓ト修正ス

遠洋航海助成金ノ費途昭和十二年度ノ金額ヲ一、一二二、〇〇〇圓、計ノ金額ヲ一〇、四三四、〇〇〇圓ト修正ス

優秀船舶建造助成金ノ費途第二種船ノ昭和十二年度ノ金額ヲ三八〇、〇〇〇圓、昭和十三年度

ノ金額ヲ一、八二〇、〇〇〇圓、昭和十五年度ノ金額ヲ一、八〇〇、〇〇〇圓ト修正ス

(三) 六

特別會計

大藏省所管

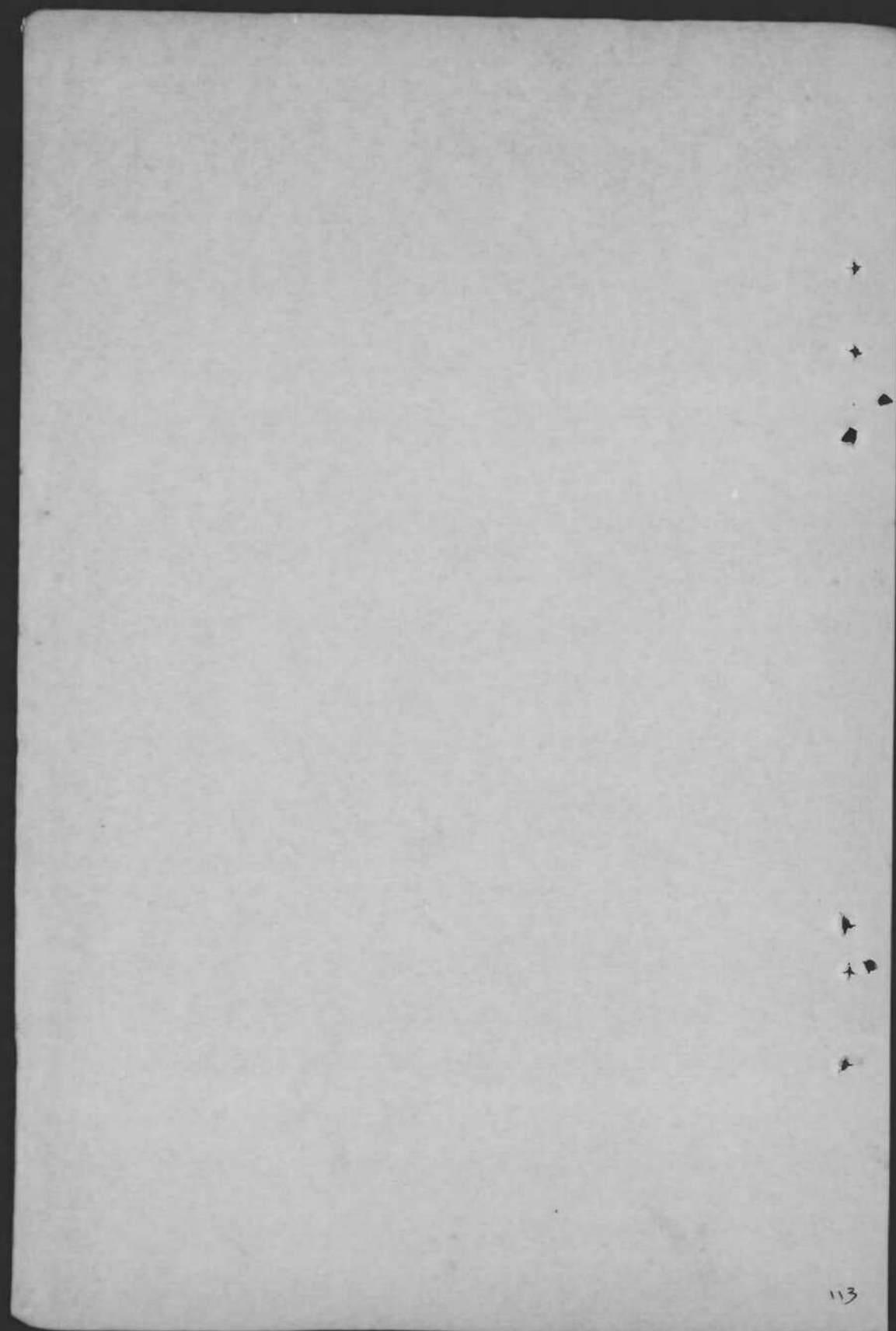
專賣局

專賣品及同原料並材料及消耗品購入回送費ノ費途ノ本文中「酒精原料」トアルヲ「アルコール原料」ト修正ス

拓務省所管

朝鮮總督府

第二大同橋架設費補助ノ費途ヲ削除ス



裏面
白紙

113

北樺太石油株式會社社債元利保證

北樺太石油株式會社社債元利保證ニ關シ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件中「參百萬圓」トアルヲ「五百萬圓」ト改ム

説明

北樺太石油株式會社社債元利支拂ノ保證ニ關シテハ第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經タルモ更ニ試掘事業ヲ擴張スル爲元利保證限度ヲ五百萬圓ニ改ムルノ必要アルニ依ル

内
閣

滿洲拓殖會社社債元利保證

政府ハ日本人ノ滿洲國ニ於ケル移住助成ノ事業ヲ經營スルコトヲ目的トシテ設立セラルル會社カ其ノ事業ノ費用ニ充ツル爲發行スル社債ノ元利支拂ニ付左記條件ニ依リ之カ保證ヲ爲スノ必要アリ依テ之カ保證ニ關シ契約ヲ締結スルヲ要ス

一 社債ノ元利支拂保證ヲ爲スヘキ會社ハ日滿兩國政府ノ出資アルモノニ限ルコト

一 社債ノ元利支拂保證ハ日滿兩國政府ノ連帶トスルコト

一 政府ニ於テ保證スル社債ノ償還期限ハ起債ノ年ヨリ三十箇年以内ナルコト

一 政府ニ於テ保證スル社債金額ハ借換ノ場合ヲ除クノ外其ノ都度帝國議會ノ協賛ヲ經ルコト但シ政府ニ於テ保證スル社債ノ總額ハ貳億千萬圓ヲ超過セサルコト

内 閣

社債元利保證ニ關スル件

弊社

事業ハ産業經濟兩方面ヨリ東北地方ノ振興ヲ目的トシ從ツテ事業ノ選
擇モ各般ノ事情ヲ綜合セザルベカラザルモノアルヲ以テ廣闊廣範ニ涉
リ事業ノ成果モ容易ナラザルモノアルト之ガ資金ノ多額ヲ要スルハ尋
常一樣ナラザルモノアルトニ鑑ミ政府ハ夙ニ配當補給金制度ヲ設ケル
ト同時ニ社債額ノ限度ハ拂込資本金ノ五倍迄之ヲ爲シ得ルコトニ特例
ヲ設ケラレアル事情ヨリ考察シ弊社ハ之ガ趣旨ニ添フテ事業確立ニ銳
意努力中ニ有之候

而シテ之ガ事業資金ハ第一次の事業ニ基クモノノミニテモ別紙ノ通達
額約六千萬圓ヲ要シ此ノ内一千萬圓ハ姉妹會社タル東北振興電力株式
會社拂込金ニ充當セザルベカラズ結局會社本來ノ事業資金ニ充當スル
ハ殘額約五千萬圓ヲ以テ賄ハザルベカラザルモノナルニ付極力經費ノ

東北興業株式會社

節減ニ努力スルノ要アリ從ツテ社債發行ニ就テモ可及的其ノ條件ヲ有
利ニ展開セシムルノ必要有之旁々資金調達ノ困難ヲ期スル爲少クモ
根幹事業ノ成果ヲ得ルニ至ル迄ノ社債額三千五百萬圓ニ對シテハ政府
ニ於テ之ガ元利保證ヲ被成下候様特別ノ御配慮ヲ賜リ度伏シテ奉懇願
候

北極大石油泥層南葉叶成。開元修費。

北緯太東海岸ノ留所ノ方ニ飛鳥（約七十平方英里）ニ於テ試掘地假ハ
何レモ有ラズ油田也ニシテ之ノ開闢ハ我々海軍利権ニ上ル趣ナラザルモ
此處地方ノ地理的條件ナラズ不利ナルニハ關涉ナシ野胡即地現ニ身
據セタルヘカラス關涉ニテリテ試掘事業ハ我々ノ獨斷ニ遭遇ニ作
業ニ進捗莫ク如クナラズ新條英政府所定ノ試掘期限ハ昭和十
年十二月迄ニシテ今迄試掘ヲ怠ルコト不能ナリタルヲ以テ今迄ハ日下
帝國政府交務ノ下ニ觀望對政府トノ間ニ試掘期限ヲ延長シ
交渉ヲ進メテアリ

茲將今後新ハ明和ノ制度着クカキテ以テ確ニ既定試振計畫
 ニ加ヘ新シテ制度以降ナリテ試振ニ着キテ十五年迄ニ之ヲ完了
 シ可及的多数ノ試振確ニテ持振欲シ(持振確ニハ明和四年より上ト
 シテ我々ニ取留セシトスルモノナリ)現地ノ事情ニ基テテ事柄ニ因リ巨
 額ノ費用ヲ必要トシ店就ハ既ニ明和ノ計以降持振事業ヲ縮小シ

裏面白紙

試振事書一紙張ニ帯タリテ結果極端ニ右負多難ニ過リ殆ル試振
ニシテ今後自力ニ依リ前記試振計画更テ遂行スルコトハ強シトナリ
用テ政府ハ右試振費ノ改革額ヲ助成シ而テ政府ハ今更ニ知リ得
テ業行ニシテ政府ニ於テ是ノ一新五拂ヲ得ルニシテ其ノ後更ニ
加ヒテ相模ニテ資金ノ調達ヲ圖リ試振ヲ促進セントスルヲ在ニテ
書キテ書キ

歷
續

12

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

五ノ三五 晴右
(瑪阿ノ人屋ノ人後ノ事)

二、四、五、

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

WD
A
B

内閣

日本標準規格 JIS

裏面白紙

海軍外國庫、買換ト云ベキ契大ナル開クニ由ル書
ハ此種大ニ於テ石油試瓶四成在支田ノ内ナリト之ハ契好ク爲ス
コラサレバ試瓶事業一性値上之ガ遂行ヲ期シ難キヲ以テ凡レ其
割額ノ範圍内ニ於テ支出スル一契好キ際臨スルヲ要ス

하
하

七

東

225 51 7

7

+

1

十 五

分

内

關

裏面白紐

裏面白紙

三、北樺太石炭株式會社ハ債主の得権
政府ハ北樺太石炭株式會社の北樺太東端岸ノ千ノ大嶺里
附近地域ニ於テ行フ試掘事業ノ費用ニ充ツル爲メ其ノハ
額面ニ白紙ヲ限リ其ノ之利ヲ拂フハ得權ニ付テモセズ
云々

一日の北樺太ノ千ノ大嶺里附近地域ニ試掘事業ノ費用ニ充用ス	三〇〇、〇〇〇円
一、債權額	三〇〇、〇〇〇円
一、在明治十四年	昭和十一年
一、利	年四厘五厘
一、取還期日	五十年
一、取還期限	昭和二十一年
一、償還方法	昭和十一年より昭和二十一年迄毎年還付ス
一、利息及元金利息償還額	昭和十一年より昭和二十一年迄毎年還付ス

内閣

[illegible]

121

裏面白紙

裏面白紙

内務省
主計長

外務省
主計長

文部省
主計長

農商務省
主計長

陸軍省
主計長

海軍省
主計長

逓信省
主計長

文書課長

下

府

政務次官

参事官

内閣

日本標準規格 B5

122

裏面白紙

主計局長
調査課長
秘書課長

大蔵大臣
理財局長
次官
文書課長
政務次官
参事官

内閣

日本標準規格 B5

裏面白紙

北樽大石油株式会社新設行社債元利支拂。開示の
所保証承認。件

(北樽大石油株式会社新設行)

北樽大石油株式会社。石油試掘事業資金。充つて同社。新設行也。
又。社債額面。百五十萬圓。元利支拂。同社より。政府特許。別紙
一通。申請。越。シ。ル。処。右。政府特許。件。ハ。左。社。資本。状態。鑑。み。試掘事業
一。遂。行。促進。上。必要。ト。認。め。且。右。社。債。額。行。額。百五十萬圓。ハ。量。數。
算。外。國。庫。員。擔。上。居。ル。ベ。キ。聖。時。一。件。於。此。樽。大石油株式会社。債元
利。償。還。二。付。予。七。十。圓。高。國。議。局。協。賛。ヲ。認。め。社。債。額。百五十萬圓。ハ。額。
大。藏。省。禮。部。於。テ。本。件。開。示。成。立。指。導。日。限。リ。許。通。一。コ。ト。決。定。
致。シ。居。ル。以。テ。案。一。一。通。之。ヲ。承認。シ。且。案。一。一。依。リ。社。債。額。面。政府保
證。一。旨。記載。シ。之。捺。印。相。成。可。知。
仰。高。裁。

北樽大石油株式会社新設行

内 閣

裏面白紙

密林ノ一

密林省指令一ニ才 號

北緯大和神林式合社

取締役社長 左也司政シ

昭和

昭和丁二前六月三十日 内甲清見、社債元利金支拂ニ関スル政府

保証ノ件承認ス

昭和丁二前七月一日

密林大臣

内閣

裏面白紙

字一

(裏面付箋文一言)

大日本帝國政府、本條約を初め、元利互換の件、

附、大、臣、
(印)

内
閣

日本標準規格 B5

裏面白紙

昭和十一年八月十日

甲高八八

長官

契

昭和十一年八月十日附甲諸君ノ社債元利金支払ノ間ニ政府ノ保証ノ
付ニ別荘承認相成候此右ハ一ニ以構大石田試掘地域ノ開荒ヲ促進スル
趣旨ニ出ツルモノナリ然レニ右社債金ノ専ラ試掘作業費ニ充テル見
付ツルモノト其ノ作業ノ能率ノ増進ハ貴ノ社約ニ留テ見
テ回リ利子ノ支拂ハ元金ノ償還ニ遺漏ナキヲ期スルベリ此致候
候也

内 閣

試研此書

本居社へお返し申す。御領主様より「おじ、カタンナリ」な「アトナリ」
 持振領主。若う持振作曹リ通ルト其領意ノ千平分露里試振地域
 一開光・男メマレリ 即チ昭和ニシテ一區新ノ千平分露里試振地域一師定
 方了ニ望ミ年ニ升一試振ニ屬手ニタル始メトシ爾又今、日也有御事ト
 望ミラル、十九試振領主内ニ若クシテ七升一試振ニ屬手ニタルが内ノ四升ハ
 既ニ完了、立方ハ中自休止ハ升ハ日下試振地域中ナリ而シテ完了
 一四升中四升ハ豊富ナル由屬今ヌコトヲ得ニシ派リ以テ下ノ升ニ「カク
 ンナリ」升ニ「エハ」升ニ「エハ」持振領主ニ端ナセリ、
 日下之が端ナキ續中ナリ

試聽故黃狀

厩此一試應事等致下。心必寬。眼和十。年交。正二十。考。為。若。
殆不學。考。千。年。內。之。上。人。別。持。取。勘。定。之。振。督。令。的。一。孩。一。是。而。了。也。
之。三。四。時。府。一。試。應。助。金。屋。文。內。額。著。高。七。拾。九。萬。五。千。四。百。五。十。年。正。一。

内

74

裏面白紙

恒却金銀刀九枚五兩四丁控隋スル文
 物七百六拾五兩五錢四分一長卿
 ⑤定 華也ヲ負持スルニ此レリ

國定 其のうり據 ストニ 記レリ

而して短期資金一萬圓増資の條に非ざる收、一トラス上、皆油一
空拂差益或は厚油減、丁買價、引き差、之を求ト、斯う底算、遂
行、其、ト、ト、

行々累々

行々累々

三、照和丁一司以降一紙據訂畫石所書廿壹處

内附子、訖据討書

[illegible]

二、蘇國任親、商賈ナル適用、露人方面若、能於此處等、一諾
 千金、常願和人ノ以臨、持。誠懇仕事ニ力ヲ注シ来リタル事

[illegible]

缺少四邑南方三地域一試掘ヲ防々ニ施スルニ決ス

リリ心ヲ以テ余能ク政府救済ノ下ニ昭然トシテ夏ヨリ莫斯科ニ赴キ

試擬斯限，止長延。重積缺步，四步之乃南。方三此域，一試擬定。從方三間。

内

PAU

日本標準規格 JIS

裏面白紙

裏面白紙

ノ交際ノ政見ノ月ニ望リ協定成立シタルヲ以テ新ニ試掘ノ五月
計里ヲ樹テ昭和十一年迄ニ三ノ五ノ新掘着手ナリ一年至着手ナリ
十三ノ交着手ナリ五ノ四ノ交着手ナリ五ノ計ニナリ延焼ナリ
肩ナリ十一年交着手ナリ計九ノ五ノ掘ナリ一ノ年皮着手ナリ一ノ年交着手
ナリ十四年交着手ニナリ四ノ一ノ試掘ヲ定メシ以テ向ノ多教ノ様
掘欲ニ一獲得ナリ同ナリ

而テ本試掘ニ要スル資金ハ昭和十一年迄ニ成成キ事ナリ
内ノ巨額ニ上ルニモシテ今調査ナリ今社ニ期待スルコトニ其ノ注意
状ニナリ見テ然レド不ヲ能クモ也

四ノ政見ノ北極大ノ地質調査開始ナリ
北極大ノ地質調査ハ我々ノ唯一ノ希望ニ外ナリ
調査ハ今更ニ地質調査ノ進行上最モ重要ナル所ニナリ以テ我々
ハ事業ノ開始以來始終注意ナリ以テ事業ノ一成長監督ヲ怠レズ
精ニ試掘事業ニ用テ今更ニ地質調査ノ進行上最モ重要ナル所ニナリ以テ我々
ハ事業ノ開始以來始終注意ナリ以テ事業ノ一成長監督ヲ怠レズ

内 閣

元子誠雅事書
ハ之ニ依リ必_ルニ又收養_ス期_ニ留_ルル_ニ至_ルル_ニ依_ル

社より此の事業に力を用ひ、其費用を盡し而て大衆人の利益となる國庫上
 之ヲ短期貸付金と稱通ニ仰りユトハ殆んど不可然且社ノ利不利は
 仍テ本會に歸スル部ヲ長期且低利ノ社債ニ代ヒルコト有利トスルモ本會
 社ノ資本座に全部外國ニおれ、且ツ利權實得（青西信子院）上之ヲ擔
 保シ得レば如何に手帳ニ在ルコト以テ否此能力依リ杜撰ノ結果生ズルコト
 勿ラントナリ得与

右ノ諸事情一鑑ニ因テ信用ヲ喪失シ
以テ所期一試振ヲ遂行スルコトヲ最モ
適當ト認メタリモリ

四社債元利一立稱父也

[illegible]

内落

裏面白紙

子ハ遊行者ノ期ニツキシタリ右ニ依リ事畢テ分統ヲ賜ハシ所定ノ期
 子ヲ交辨シテ分統ヲ賜初十七日度ヨリハ年計實金ヲ以テ之ヲ金ハ償還
 ヲ爲シ但ヒ欠セ略破實ト認メラハ

卷之二十一 杜陵詩集

社橋線 二五五ノ四

一、 34 年 4 月 1 日

一、發行價格
額面通

一 陸表 額額 五千四 一萬四 無記 名式 別札 附

一、元聖子研所 料式合礼曰 庄順 孝銀 竹本店

一、業行之法 株式會社日本興業銀行全額

於三回本照書銀三三照書債三三受五日本也

業銀行ハ如ク似ク信々金下以テ政府得此北極大

石井樓全集 社説ヲ引ケルニトス

内

裏面白紙

一、債還方法

昭和十七年六月一日迄、その年振替、其の後、
年名振替期日、類、有、拾、貳、萬、五、千、円、を、還、
入、第、一、期、和、成、拾、七、年、六、月、一、日、迄、
還、入、第、二、期、和、成、拾、八、年、六、月、一、日、迄、
買、入、第、三、期、和、成、拾、九、年、六、月、一、日、迄、
為、白、之、上、の、振、替、上、の、振、替、上、の、振、替、
本、照、書、銀、行、の、振、替、上、の、振、替、上、の、振、替、
上、の、振、替、上、の、振、替、上、の、振、替、
此、に、依、り、

尚、興業銀行、承、取、り、の、場、合、に、は、同、上、の、
第、一、期、の、上、の、振、替、上、の、振、替、上、の、振、替、

右、振、替、上、の、振、替、上、の、振、替、上、の、振、替、

振、替、上、の、振、替、上、の、振、替、上、の、振、替、
の、振、替、上、の、振、替、上、の、振、替、上、の、振、替、
の、振、替、上、の、振、替、上、の、振、替、上、の、振、替、

内 閣

裏面白紙

本件承取、上、直、引、各、契、の、為、に、所、在、の、地、段、を、引、取、り、
差、下、り、
引、取、り、敷、料、は、右、の、如、く、一、月、一、日、五、千、文、に、し、て、通、出、し、決、り、
右、の、通、に、し、て、見、し、由、客、に、不、適、當、と、決、り、し、莫、大、ナ、ン

内
閣

参考資料

一、豫算外國庫負擔トナルベキ契約

北樺太石油資源開發助成金

北樺太石油株式會社社債元利保證

一、昭和十二年度以降試掘費調達額

一、試掘費及助成金額調

一、利子支拂額及元金償還額年別表（今回發行ノ分）

一、昭和十二年以降五ヶ年收支豫算見込表

一、昭和十二年以降五ヶ年間採掘計畫

一、試掘作業概況

一、營業成績

一、年度別原油受拂調